

dynabookガイド(電子版) もくじ

| | |
|----------------------|---|
| dynabookガイド(電子版) もくじ | 1 |
| はじめに | 5 |

1章 パソコンの準備..... 13

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1 使う前に確認する | 14 |
| 2 各部の名称 - 外観図 - | 16 |
| 1 前面図 | 16 |
| 2 背面図 | 18 |
| 3 裏面図 | 19 |
| 3 ポインターを動かす/文字キーを使う | 21 |
| 1 タッチパッドで操作する | 21 |
| 2 画面にタッチして操作する | 24 |
| 3 キーボードの文字キーの使いかた | 27 |
| 4 Windows を使えるようにする | 28 |
| 1 Windows セットアップ | 28 |
| 5 Windows 8.1 について | 44 |
| 1 画面の切り替えについて | 44 |
| 2 チャームの操作について | 46 |
| 3 アプリケーション一覧の表示について | 47 |
| 4 Windows 8.1 でわからない操作があったとき | 47 |
| 6 電源を切る/入れる | 48 |
| 1 電源を切る | 48 |
| 2 電源を入れる | 51 |
| 7 マニュアルで見るパソコンの使いかた | 53 |
| 1 冊子マニュアル | 53 |
| 2 パソコンの画面で見るマニュアル | 54 |

2章 インターネットを快適に利用するために -ウイルスチェック/セキュリティ対策- ... 59

- 1 インターネットを使うには** 60
 - 1** 有線LANで接続する 62
 - 2** 無線LANで接続する 63
 - 3** メールを使用するために 65
- 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには
-ウイルス・インターネットセキュリティ-** 66
 - 1** コンピューターウイルス対策 66
 - 2** インターネットをより安全に楽しむために 67
 - 3** ウイルスバスターによるウイルス対策 68
- 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する** 70

3章 パソコンの使用環境を整えよう 71

- 1 周辺機器を使う前に** 72
- 2 Bluetoothマウスについて** 73
 - 1** Bluetoothマウスの準備 73
- 3 バッテリーについて** 78
 - 1** バッテリー充電量を確認する 79
 - 2** バッテリーを充電する 81
- 4 メモリを増設する** 83

4章 パソコンを再セットアップするには 89

- 1 パソコンの調子がおかしいときは..... 90
- 2 パソコンをリフレッシュする..... 92
 - 1 リフレッシュ前に行うこと..... 94
 - 2 パソコンのリフレッシュを行う..... 95
 - 3 リフレッシュ後に行うこと..... 96
- 3 バックアップをとる（Windowsが起動しないとき）..... 97
 - 1 東芝ファイルレスキューについて..... 97
- 4 パソコンを初期状態に戻すーリカバリーー..... 103
 - 1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ..... 104
 - 2 パソコンを初期状態に戻す前しておくこと..... 105
 - 3 いくつかある初期状態に戻す方法..... 107
 - 4 ハードディスクドライブからパソコンを初期状態に戻す..... 107
 - 5 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す..... 109
 - 6 パソコンを初期状態に戻したあとは..... 111
- 5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする..... 112

5章 困ったときは 115

- 1 トラブルを解消するまでの流れ..... 116
- 2 Q&A集..... 118
 - 1 電源を入れるとき／切るとき..... 120
 - 2 画面／表示..... 122
 - 3 システム／ハードディスク..... 124
 - 4 タッチパネル..... 125
 - 5 キーボード..... 126
 - 6 タッチパッド／マウス..... 127
 - 7 メッセージ..... 130
 - 8 その他..... 132
- 3 捨てるとき／人に譲るとき..... 134

| | | |
|----------|-------------------------------------|------------|
| 4 | お問い合わせ先 – OS／アプリケーション– | 138 |
| 1 | OSのお問い合わせ先..... | 138 |
| 2 | アプリケーションのお問い合わせ先..... | 139 |

付録 **145**

| | | |
|----------|----------------------------------|------------|
| 1 | ご使用にあたってのお願い | 146 |
| 2 | 技術基準適合について | 152 |
| 3 | 無線LAN／Bluetoothについて | 153 |
| | リフレッシュ／リカバリーチェックシート | 156 |

はじめに

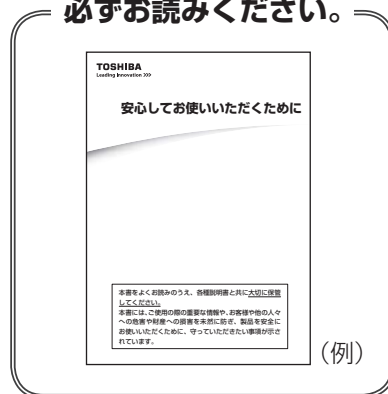
このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。

本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。








本書は、次の決まりに従って書かれています。

必ずお読みください。



(例)

1 記号の意味

| | |
|---|--|
|  危険 | “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。 |
|  警告 | “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。 |
|  注意 | “取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。 |
|  お願い | データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。 |
|  メモ | 知っているると便利な内容を示します。 |
|  役立つ操作集 | 知っているると役に立つ操作を示します。 |
|  参照 | 参照先を示します。 <ul style="list-style-type: none">● 本書内への参照の場合…「 」● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…「 」 |

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows 8.1です。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

WindowsまたはWindows 8.1

Windows 8.1を示します。

MS-IME

Microsoft IMEを示します。

ドライブ

ブルーレイディスクドライブまたはDVDスーパーマルチドライブを示します。

Office搭載モデル

Microsoft Office Personal 2013またはMicrosoft Office Home and Business 2013をプレインストールしているモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『dynabook * * * *（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「****モデルの場合」や「****シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは本体のハードディスクや付属のCD/DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書では、コントロールパネルの操作方法について、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。


画面右上の「表示方法」が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。



(表示例)

- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えてご使用ください。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows及びWindowsロゴ、Skype及びSkypeロゴは、マイクロソフト企業グループの商標です。
その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- Microsoft® PowerPoint 2013 楽しもう フォトウィザードは、Microsoft .NET Frameworkを使用して構築されています。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Intel、インテル、インテルCoreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- ATOKは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- ATOKは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク)、Blu-ray™ (ブルーレイ)、BDXL™及び関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- SDロゴは商標です。()
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの登録商標または商標です。
- Fast Ethernet、Ethernetは富士ゼロックス株式会社の商標または登録商標です。
- おたすけナビは、株式会社東芝の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
- Corel、Corel ロゴ、PaintShop Pro、Roxio Creator、およびVideoStudioは、カナダ米国、およびその他の国における Corel Corporation とその子会社の商標または登録商標です。
- McAfee、マカフィーは、米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターおよびウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- 「PC引越ナビ」は、東芝パソコンシステム株式会社の商標です。
- デジブックは株式会社ルクレの登録商標です。
- デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- LoiLoScopeは、株式会社LoiLoの著作物であり、著作権、その他の権利は株式会社LoiLo及び各権利者に帰属します。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- CyberLink™、MediaShow™、MediaSync™はCyberLink Corporationの商標です。
- DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks and DTS Studio Sound is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ (CPU) に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ (CPU) の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト (たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト) を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高1,000メートル (3,280フィート) 以上をお考えください。
- 目安として、気温5~30℃ (高所の場合25℃) の範囲を超えるような外気温の状態では本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。

これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常のプロtection機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するように、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

本製品には64ビットプロセッサおよび64ビット版OSが搭載されており、32ビット版のデバイスドライバーやアプリケーションが正しく動作しない場合があります。



6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製 (データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。

必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [はじめに] の [ リリース情報] をクリックする

8 お願い

- 本体のハードディスクにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows 標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体のハードディスクにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種 (型番) を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。
HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスクを交換します。
それ以外のパスワードの場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。
またどちらの場合も、身分証明書 (お客様自身を確認できる物) の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 本製品のセキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティーケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。
ウイルスチェックがまったく行われない状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック/セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

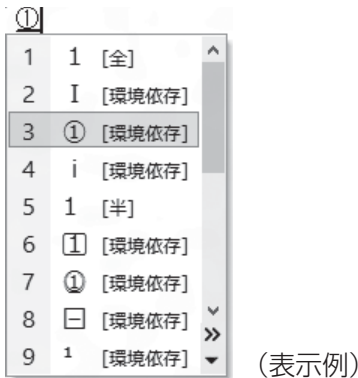
参照 お客様登録について『基本編 2章 8 お客様登録の手続き』

9 ユーザーアカウント制御 画面について

操作の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

10 環境依存文字について

環境依存文字とは、入力した文字を漢字へ変換するときに表示される候補の右側に「環境依存」などと表示されるものです。



- ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
- コンピューター名に環境依存文字が含まれていると、アプリケーションが起動しないなど、正常に動作しないことがあります。
- ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「？」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
- アプリケーション上でファイルの編集集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。

このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。

CD/DVDなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

11 電源を切った状態での操作について

一部の操作は、電源を切った状態で行うため、本マニュアルを参照しながら操作することはできません。

必要に応じて、『dynabookガイド（取扱説明書）』をご覧ください。本書の該当ページを印刷してから操作してください。

12 操作の読み替えについて

本書では、代表的な操作例として、タッチパッドやマウスを使った操作（「クリック」／「ダブルクリック」など）手順を記載していますが、画面にタッチして操作することもできます。タッチ操作を行う場合は、タッチパッドやマウスの操作の部分を、次のように読み替えてください。

- クリック → タップ
- ダブルクリック → ダブルタップ
- 右クリック → 長押し（ロングタップ）
アイコンなどの上に指を数秒置いて、はなします。

※一部例外があります。

参照▶ 操作の詳細について「1章 **3** ポインターを動かす／文字キーを使う」

13 「Office」のライセンス認証について

* Office搭載モデルのみ

Office搭載モデルの場合、「Office」を使用するには、Windowsのセットアップ後にライセンス認証が必要です。

① スタート画面の [Microsoft Office] をクリックする

以降は、画面の指示に従ってください。

ライセンス認証にはプロダクトキーが必要です。

プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。

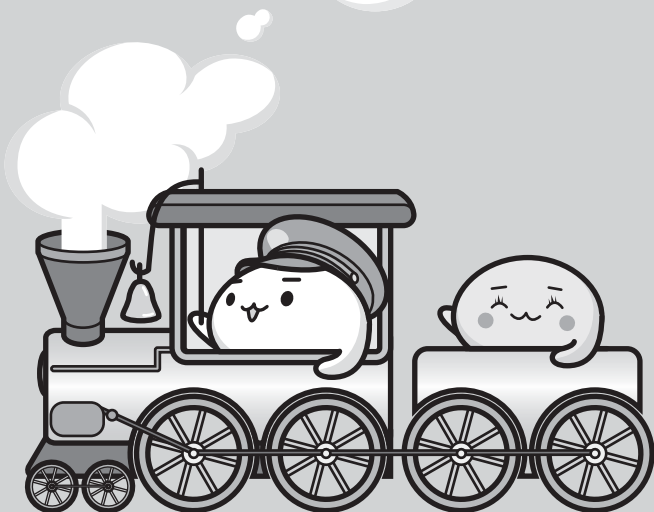
1 章

パソコンの準備

この章では、パソコンの置き場所、Windowsのセットアップと基本操作、電源の切りかた／入れかたなど、お買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備と、本体各部の名前や基本的な使いかたについて説明しています。

また、本製品でご用意しているマニュアルについて説明しています。

| | |
|---------------------------|----|
| 1 使う前に確認する | 14 |
| 2 各部の名称 -外観図- | 16 |
| 3 ポインターを動かす／文字キーを使う | 21 |
| 4 Windowsを使えるようにする | 28 |
| 5 Windows 8.1について | 44 |
| 6 電源を切る／入れる | 48 |
| 7 マニュアルで見るパソコンの使いかた | 53 |



1 使う前に確認する

1章

パソコンの準備

1 箱を開けたらまずはこれから

■ 箱の中身の確認

『dynabook ****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 ▶ 東芝PCあんしんサポートについて「5章 **4** お問い合わせ先」

■ 型番と製造番号を確認

パソコン本体の裏面に型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 ▶ 記載位置について「本章 **2** - **3** 裏面図」

2 忘れずに行ってください

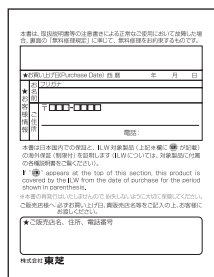
■ はじめに

ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

■ 保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。

保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。



■ 海外保証を受けるには

海外で使用するときには「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。

利用方法、保証の詳細は、『dynabookガイド（取扱説明書）』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

3 最適な場所で使う

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。



次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

- 安定した場所に置きましょう。
不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。
暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときにははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。
照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。
携帯電話も無線通信装置の一種です。
- パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。
通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

2

各部の名称

—外観図—

1章

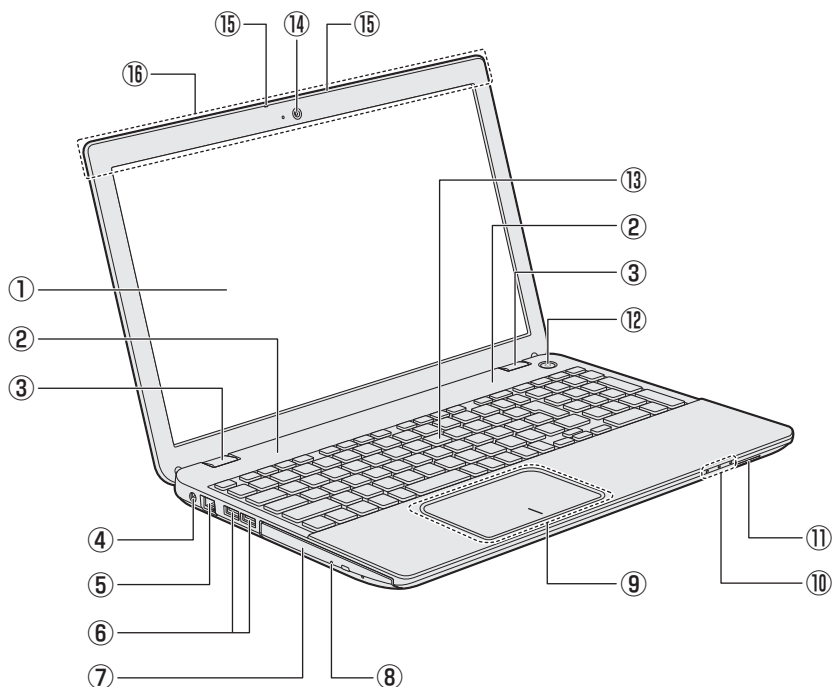
パソコンの準備






ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。

お願い 外観図について

- 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。ご購入のモデルの仕様については、『dynabook *** *（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

1 前面図



- ① **ディスプレイ (画面)**
画面にタッチして操作できます。
- ② **スピーカー**
- ③ **ヒンジ**
- ④  **電源コネクタ (→P.30)**
- ⑤  **LANコネクタ (→P.62)**
ADSLモデムなどのネットワーク機器を接続します。
- ⑥  **USBコネクタ**
USB対応機器を接続します。
USB3.0規格に対応しています。
- ⑦ **ドライブ**
ドライブには、CD/DVD/ブルーレイディスク*¹をセットします。
- ⑧ **ディスクトレイLED***²
ドライブにアクセスしているときに点灯します。
- ⑨ **タッチパッド、左ボタン、右ボタン (→P.21)**
- ⑩ **システムインジケータ**
- ⑪  **ブリッジメディアスロット**
SDメモリカード、マルチメディアカードなどをセットします。
- ⑫  **電源スイッチ**
- ⑬ **キーボード**
- ⑭ **Webカメラ**
- ⑮ **マイク (モノラル)**
- ⑯ この部分に通信用のアンテナが内蔵されています。

* 1 ブルーレイディスクはブルーレイディスクドライブ搭載モデルのみ

* 2 搭載されているドライブによってディスクトレイLEDの位置は異なります。

1 システムインジケータ

システムインジケータは、点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。

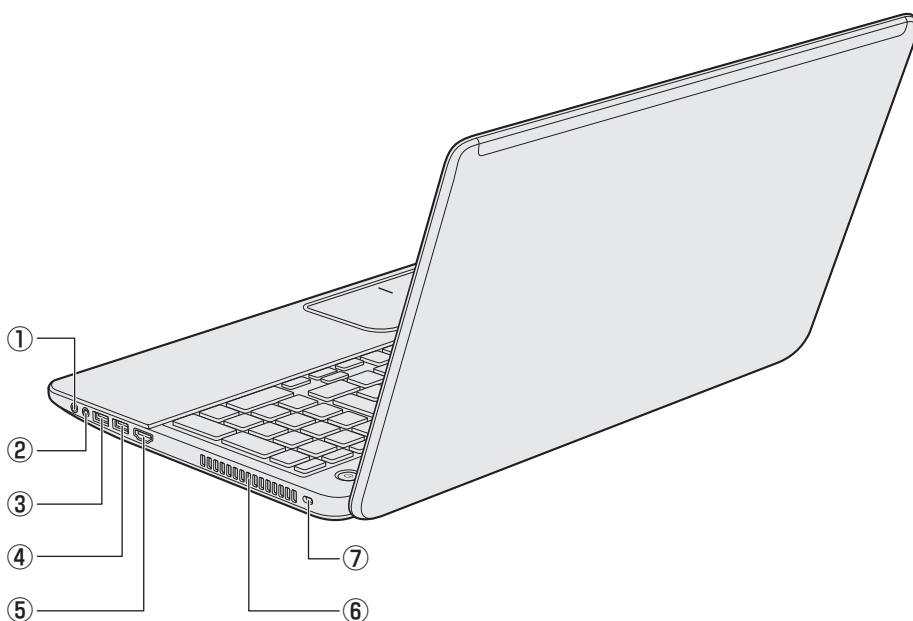


| | | |
|---|-------------------|---|
|  | DC IN/Battery LED | 電源コードとACアダプターの接続の状態やバッテリーの状態 参照 ▶ P.52、79 |
|  | Power LED | 電源の状態 参照 ▶ P.52 |
|  | ワイヤレスコミュニケーションLED | 無線通信機能（無線LAN機能/Bluetooth機能）の状態 参照 ▶ P.64 |

2 背面図

1 章

パソコンの準備



① **ヘッドホン出力端子**

ヘッドホンを接続します。

② **マイク入力端子/オーディオ入力端子*1**

マイクロホンまたはオーディオ機器を接続します。

③ **USBコネクタ*2**

USB対応機器を接続します。
USB3.0規格に対応しています。

④ **USBコネクタ**

USB対応機器を接続します。
USB3.0規格に対応しています。

⑤ **HDMI HDMI出力端子**

HDMIケーブルを接続して、HDMI入力対応機器（テレビ、外部ディスプレイなど）にパソコンの映像を表示します。

⑥ **通風孔**

パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。
ふさがないでください。

⑦ **セキュリティロック・スロット**

盗難を抑止するためのセキュリティケーブルを接続できます。
セキュリティケーブルは、本製品に対応しているものをご利用ください。
詳しくは、販売店などに確認してください。

*1 オーディオ入力は、スリープアンドミュージック機能を使用時のみ有効です。

参照 ▶ スリープアンドミュージック

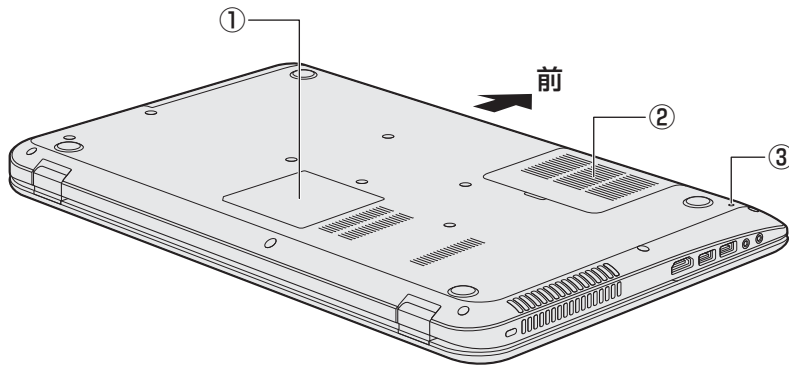
『活用編 1章 3 - 4 スリープアンドミュージック機能について』

*2 USBの常時給電の設定を行うと、パソコン本体の電源が入っていない状態でも、USBコネクタから外部機器に電源を供給することができます。

USBの高速充電の設定を行うと、USBコネクタから外部機器に短時間での充電を可能にします。

参照 ▶ 『活用編 1章 8 - 1 USBの常時給電と高速充電』

3 裏面図



①型番と製造番号

ラベルに型番（機種名）と製造番号が記載されています。

②メモリスロット（→P.83）

メモリを増設する場所です。

③シャットダウンホール

パソコンが応答しない場合は、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押ししてください。

参照▶「5章 2 - 3 - Q パソコンが応答しなくなった」

※バッテリーパックは本製品に内蔵されています。

⚠ 危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
寿命などで交換する場合は、東芝PCあんしんサポートに依頼してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

⚠ 注意

- クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する
先端のとがった部分でけがをするおそれがあります。

お願い

■ 本製品のバッテリーについて

- 本製品にはバッテリーパックが内蔵されていますが、お客様ご自身で取りはずしや交換をしないでください。

■ シャットダウンホールについて

- パソコンが応答しない場合は、先の細い丈夫なものでシャットダウンホールを押してください。電源が切れます。その際に保存されていないデータは消失します。

■ 本製品の裏面について


- 通風孔は、パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。通風孔を通して外の空気を取り込んだり、内部の空気を排出したりすることでパソコン内部に熱がこもるのを防いでいます。通風孔をふさがないでください。通風孔の表面上のほこりは、やわらかい布でふき取ってください。通風孔の内部にほこりが入ったときは、東芝PCあんしんサポートに点検を依頼してください。この場合、有料となります。
- 本製品の裏面には、正規のWindowsであることを証明する、「Windows 8」というMicrosoft®のラベルが貼ってあります。はがしたり汚したりしないでください。

■ 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「付録 1 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」

1 タッチパッドで操作する

電源を入れてWindowsを起動すると、パソコンのディスプレイに  が表示されます。この矢印を「ポインター」といい、操作の開始位置を示しています。この「ポインター」を動かしながらパソコンを操作していきます。

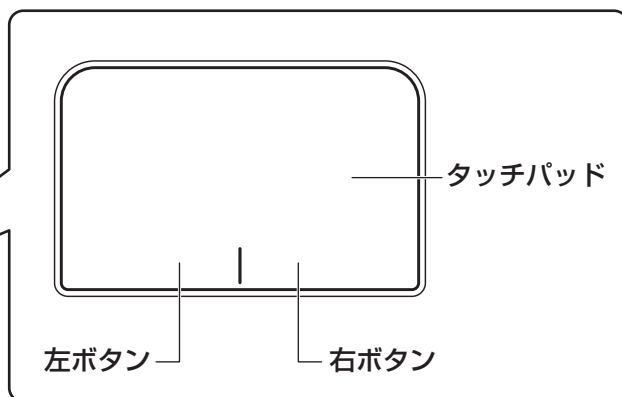
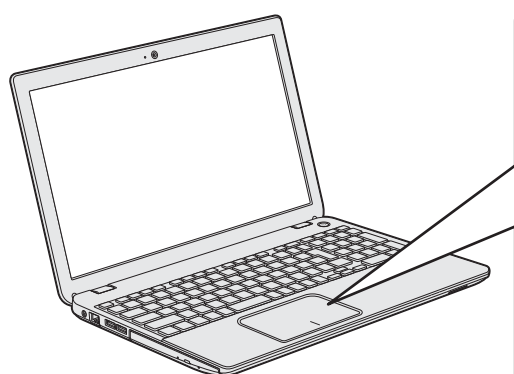
パソコン本体には、「ポインター」を動かすタッチパッドと、操作の指示を与える左ボタン／右ボタンがあります。

タッチパッドと左ボタン／右ボタンを使ってポインターを動かし、パソコンを操作してみましょう。ここでは、タッチパッドと左ボタン／右ボタンの基本的な機能を説明します。

お願い タッチパッドの操作にあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

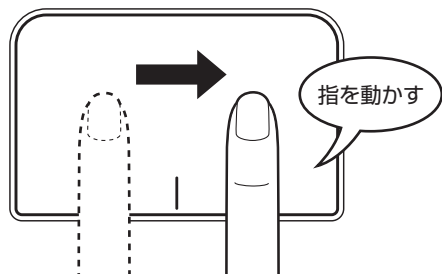
参照▶「付録 1 - 1 - タッチパッドの操作にあたって」



1 矢印（ポインター）を動かす

操作を始める位置を示す矢印（ポインター）は、タッチパッドに置いた指の方向に合わせて動きます。指を上下左右に動かしてみましょう。

指がタッチパッドの端まできてしまい、それ以上動かせなくなったときは、いったん指をはなしてから、指を動かせる位置に置き直して操作します。

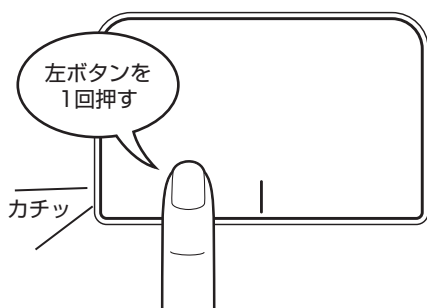


(画面)

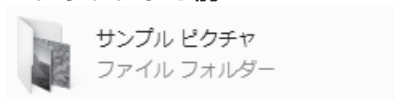
2 アイコンを選択する

アイコン、文字などを選択するには、ポインターを目的のアイコンや文字などの位置に合わせて、左ボタンを1回押します（クリック）。

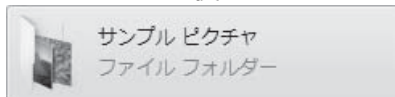
アイコンなどを選択すると、色が変わります。



<クリックする前>



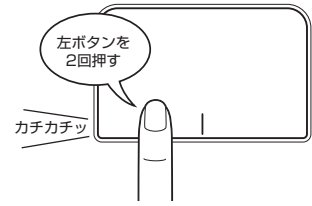
<クリックした後>



役立つ操作集

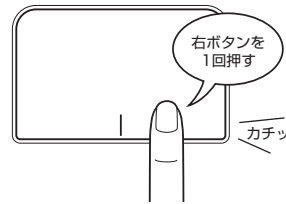
ダブルクリックする

ダブルクリックすると、ファイルを開いたりアプリケーションを起動できます。
ポインターを目的の位置に合わせて、左ボタンをすばやく2回押します。



右クリックする

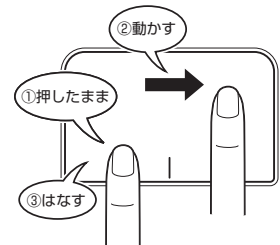
右クリックすると、メニューが表示され、そこから行いたいことをクリックして選択できます。ポインターを目的の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。



(表示例)

ドラッグアンドドロップする

ドラッグアンドドロップをすると、アイコンやウィンドウを移動したり、複数の文字やアイコンを選択したりできます。ポインターを目的の位置に合わせて、左ボタンを押したまま①、別の指でタッチパッドを使ってポインターを動かします②（ドラッグ）。ポインターが目的の位置に移動したら、左ボタンから指をはなします③（ドロップ）。

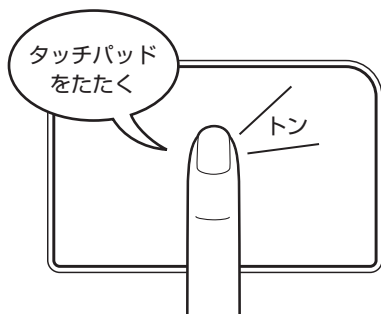


3 慣れてきたら

慣れてきたら、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

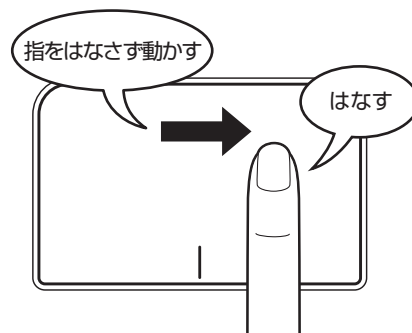
□ クリック／ダブルクリック

タッチパッドを1回軽くたたくとクリック、2回たたくとダブルクリックができます。



□ ドラッグアンドドロップ

タッチパッドを続けて2回たたき、2回目はタッチパッドから指をはなさずに目的の位置まで移動し、指をはなします。



参照 タッチパッドの設定変更について
『基本編 1章 4 - 2 タッチパッド／マウスの使用環境を設定する』

2 画面にタッチして操作する

本製品では、画面の表面を指でタッチすることによって、さまざまな操作を行うことができます。ここでは、指を使った基本的な操作を説明します。

お願い タッチ操作について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 『付録 1 - 1 - 画面のタッチ操作にあたって』

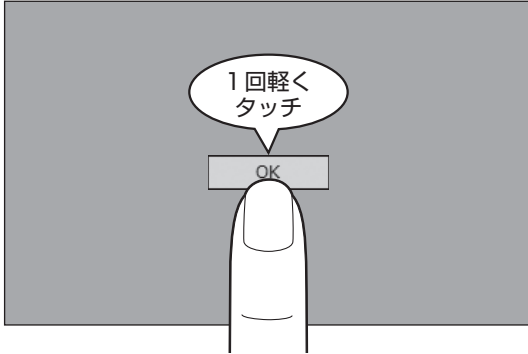
メモ

- アプリケーションや機能によっては、画面をタッチして操作できない場合があります。

■タップ

目的のアイコンやボタンなどを1回軽くタッチします。

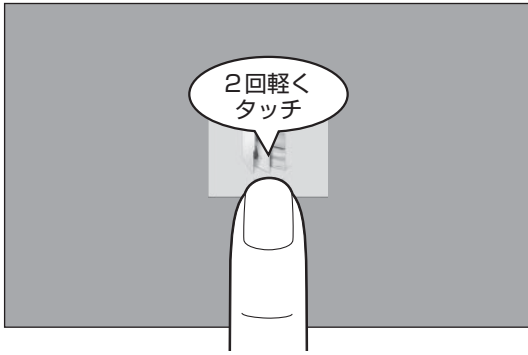
ボタンの操作、アプリケーションの起動、文字の入力などが行えます。



■ダブルタップ

目的のアイコンなどを2回軽くタッチします。

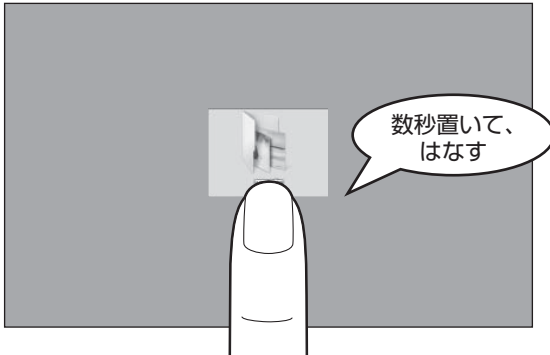
アプリケーションの起動などが行えます。



■長押し (ロングタップ)

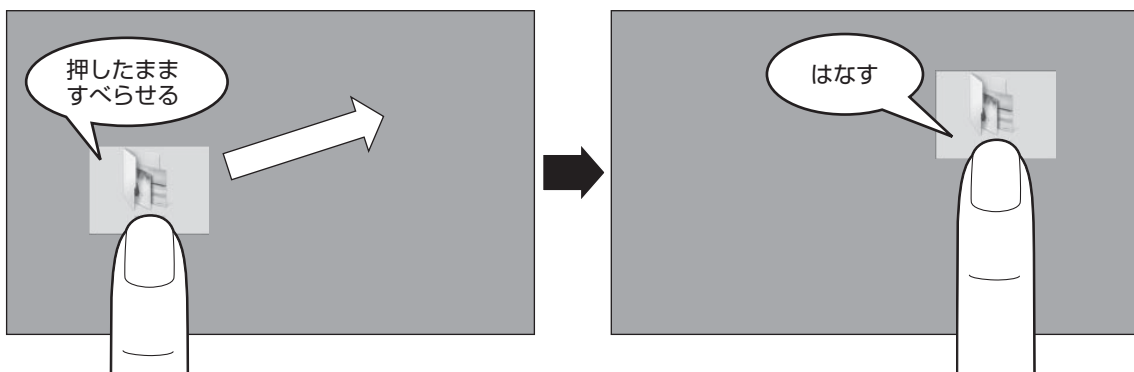
アイコンなどの上に指を数秒置いて、はなします。

触れているアイコンに対して、メニューなどが表示されます。



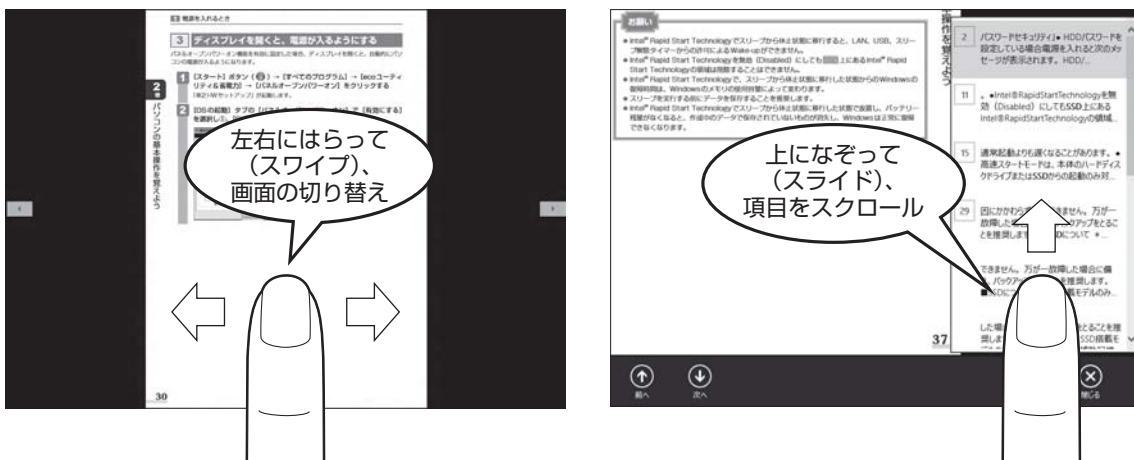
■ドラッグ

アイコンなどの上に指を置き、移動したい場所まですべらせてみます。



■スワイプ／スライド

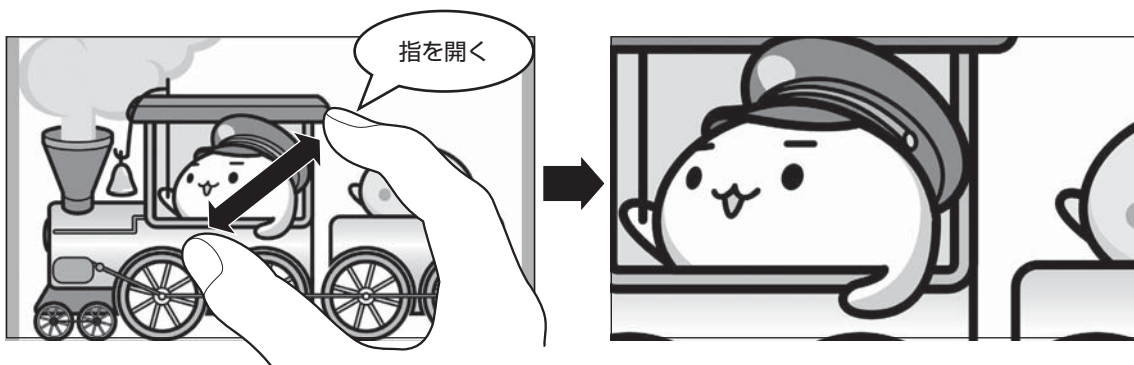
画面に指を置き、画面を軽くはらうように動かしたり（スワイプ）、なぞったり（スライド）します。画面を左右に切り替えたり、画面に表示しきれない一覧をスクロールする場合などに行います。



■ピンチアウト／ピンチイン

画面に指を2本置き、指を開いたり閉じたりすることで、画面に表示している内容や、画像の表示サイズを変更できます。

指を開く（ピンチアウトする）と拡大され、閉じる（ピンチインする）と縮小されます。



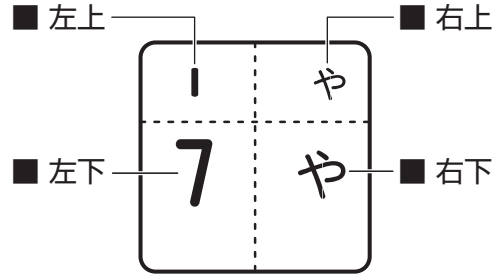

メモ

- ダブルタップを行っても、画面に表示している内容などを拡大／縮小できます。

3 キーボードの文字キーの使いかた

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。

キーボードの文字入力の状態によって、入力できる文字や記号が変わります。



| | |
|----|--|
| 左上 | ほかのキーは使わず、そのまま押すと、アルファベットの小文字などが入力できます。 [SHIFT] キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。 |
| 左下 | ほかのキーは使わず、そのまま押すと、数字や記号が入力できます。 |
| 右上 | かな入力ができる状態で [SHIFT] キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの促音 <small>そくおん</small> (小さい「っ」)、拗音 <small>ようおん</small> (小さい「ゃ、ゅ、ょ」) などが入力できます。 |
| 右下 | かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。 |

参照 ▶ キーボードを使ったいろいろな入力操作『活用編 1章 1 キーボード』

1 Windows セットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。
Windowsのセットアップは、パソコンをできるようにするために必要な操作です。
作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

1 操作の流れ

パソコンの準備

電源コードとACアダプターを接続する

電源を入れる

電源を入れてから

ライセンス条項に同意する

東芝のサービス情報メールや、
ウイルスバスターの使用について選択する

画面の基本色を選択する

コンピューター名を入力する

簡単設定を行う

ユーザー名とパスワードを入力する

セットアップ完了


お願い セットアップをするときの注意**■ 周辺機器は接続しないでください**

- セットアップを開始する前に、パソコン本体に電源コードとACアダプター以外のものが接続されていないことを確認してください。
電源コードとACアダプター以外のものが接続されている場合は、パソコン本体の電源を切った状態であらかじめ取りはずしてください。
セットアップは電源コードとACアダプターのみを接続して行います。
セットアップが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。

■ 途中で電源を切らないでください

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- セットアップ中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
もう一度表示するには、**[SHIFT]**キーを押すか、タッチパッドをさわってください。
[SHIFT]キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

■ 無線通信機能がONであるか確認してください

- Windows セットアップを始める前にワイヤレスコミュニケーションLEDが点灯していることを確認してください。

2 電源コードとACアダプターを接続する**⚠ 警告**

- ACアダプターは本製品に付属のものを使用する
本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（+）（-）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- パソコン本体にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する順番を守らないと、ACアダプターのDC出力プラグが帯電し、感電またはけがをすることがあります。
また、ACアダプターのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

⚠ 注意

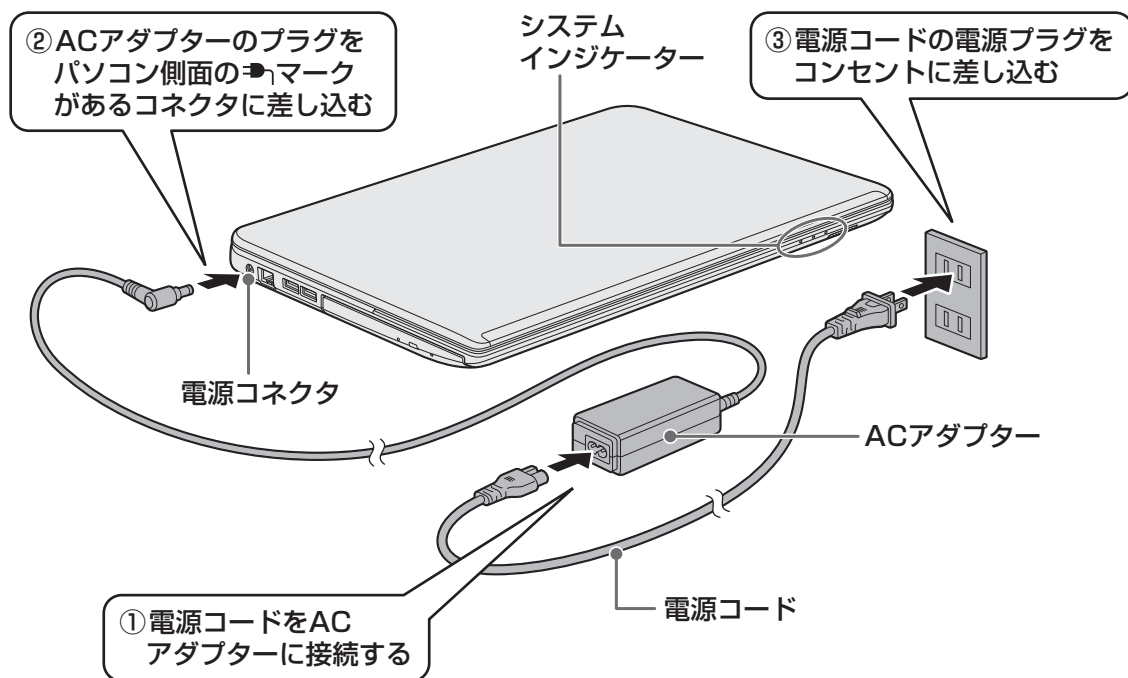
- 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない
付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

お願い 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて」

次の図の①→②→③の順で行ってください。



接続すると

システムインジケータのDC IN/Battery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。DC IN/Battery LEDが白色に点灯したら、充電完了です。

参照 DC IN/Battery LED 「本章 6 - 2 - 電源とバッテリーに関する表示」

メモ

- バッテリー充電中でもパソコンを使用することができます。

参照 詳細について「3章 3 バッテリーについて」

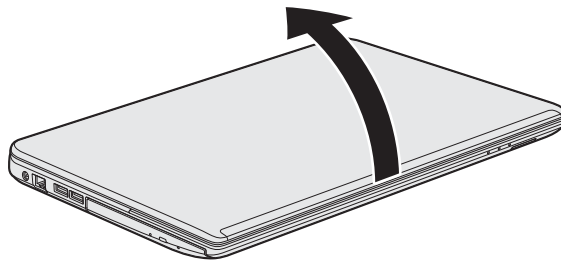
3 電源を入れる

お願い ディスプレイを開けるときは

- ディスプレイを開き過ぎるとヒンジ（手順 2 参照）に力がかかり、破損や故障の原因となります。ヒンジに無理な力が加わらないよう開閉角度に注意してご使用ください。

1 パソコンのディスプレイを開ける

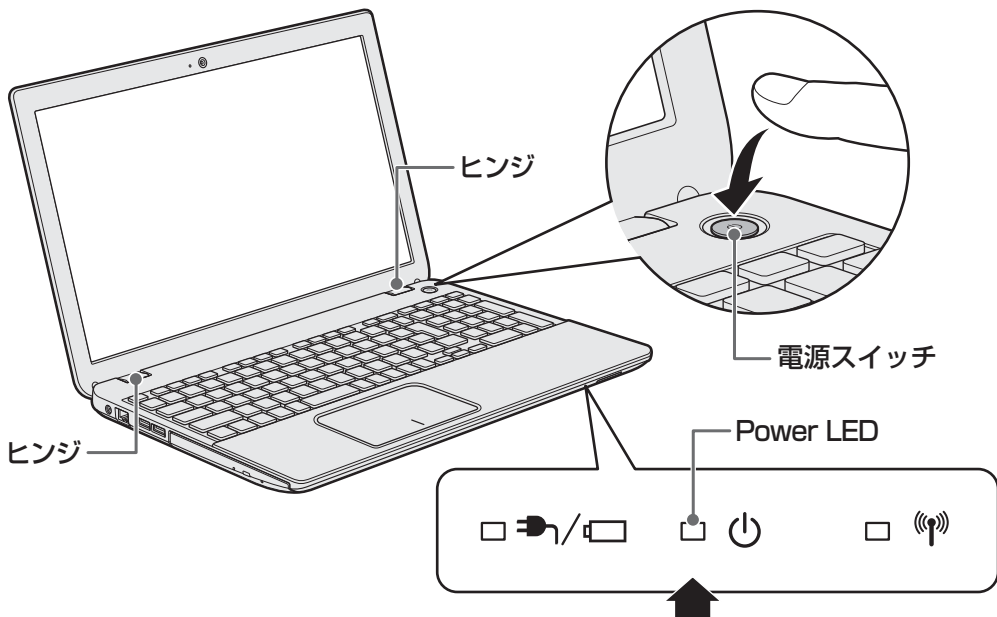
ディスプレイを開閉するときは、傷や汚れがつくのを防ぐために、液晶ディスプレイ（画面）部分には触れないようにしてください。



片手でパームレスト（キーボード手前部分）をおさえた状態で、ゆっくり起こしてください。

2 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。
Power LED が白色に点灯することを確認してください。



これでパソコンの準備は完了です。
続いてWindowsのセットアップに進みます。

4 Windows のセットアップ

セットアップには約10~20分かかります。

1 章

パソコンの準備

1

Windows と東芝のライセンス条項の内容を最後まで確認し、[同意します] をクリックする



[情報提供・サービスのご案内] 画面が表示されます。

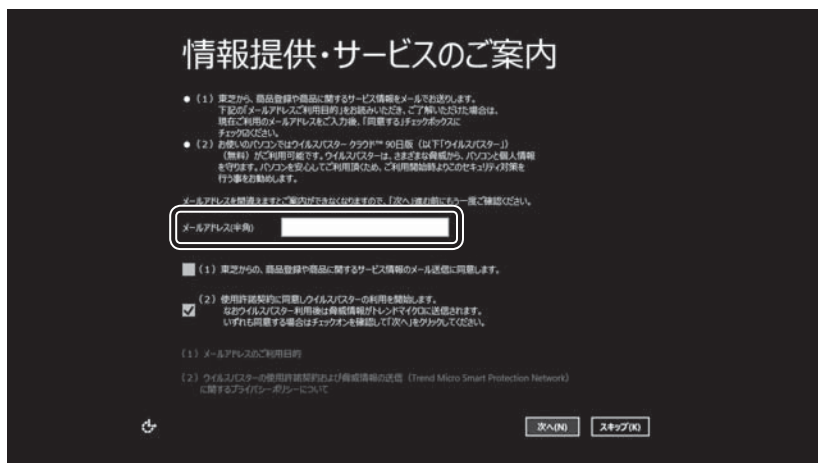
2 東芝のサービス情報メール用アドレスを入力する

既にメールアドレスを持っていて、東芝からサービス情報メールが送られても良い場合に入力してください。

メールアドレスは間違えないよう、気を付けて入力してください。

メモ

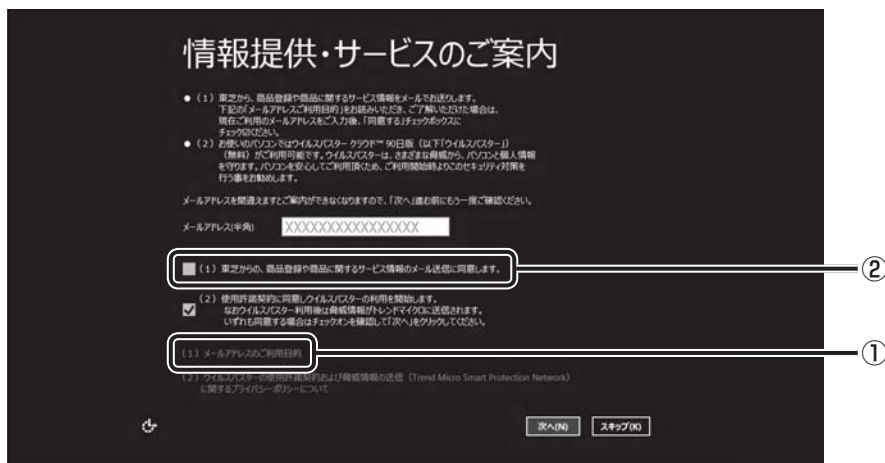
- メールアドレスが間違っていると、メールでのご案内ができなくなります。[次へ] をクリックする前に、もう一度ご確認ください。



メールアドレスをまだ持っていない、またはサービス情報メールを受け取りたくない場合は、何もしないでそのまま手順 **4** に進んでください。

東芝からのサービス情報メールは、あとでメールアドレスを取得してから、お客様登録を行い、受け取ることもできます。

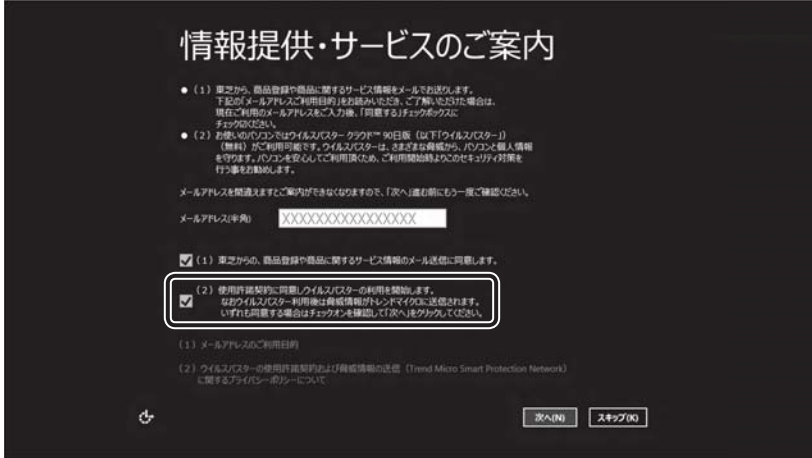
3 画面下部の [(1) メールアドレスのご利用目的] をクリックして説明をよく読んでから①(もう一度クリックすると、説明が消えます)、[メール送信に同意します。] の左にある をクリックする②



4 ウイルスチェックソフトを使用するかどうか選択する

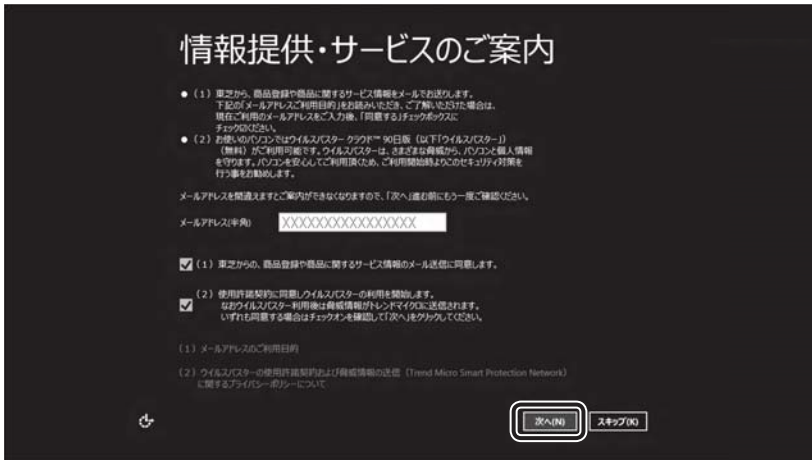
安全にパソコンを使用するために、ウイルスチェックソフトの使用を強くおすすめします。

本製品に用意されている「ウイルスバスター」を使用する場合は、そのまま何も操作する必要はありません。「ウイルスバスター」を使用しない場合は、 をクリックして にしてください。



「ウイルスバスター」はあとからでも使用を開始できます。

5 [次へ] をクリックする



[パーソナル設定] 画面が表示されます。

6 好きな色を選択する

Windows 画面上の基本色を設定できます。表示されているバーの中から好みの色をクリックしてください。



色はあとから変更できます。



次の手順の前に「コンピューター名」とは

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。必ず設定してください。

7 PC (コンピューター) 名を入力する

半角英数字で任意の文字列を入力してください。半角英数字以外は使用しないでください。

「|」(カーソル) が表示されている位置から文字の入力ができます。

同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。



「dynabook」と入力するときは、キーボードで **D** **Y** **N** **A** **B** **O** **O** **K** と押します。

■ キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、[PC名] の下の欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する **BACKSPACE** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する **DEL** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

8 [次へ] をクリックする



[オンラインに接続] 画面が表示された場合は、手順 **9** に進んでください。
[設定] 画面が表示された場合は、手順 **10** に進んでください。

9 無線LANの設定を省略するので、[この手順をスキップする] をクリックする

無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

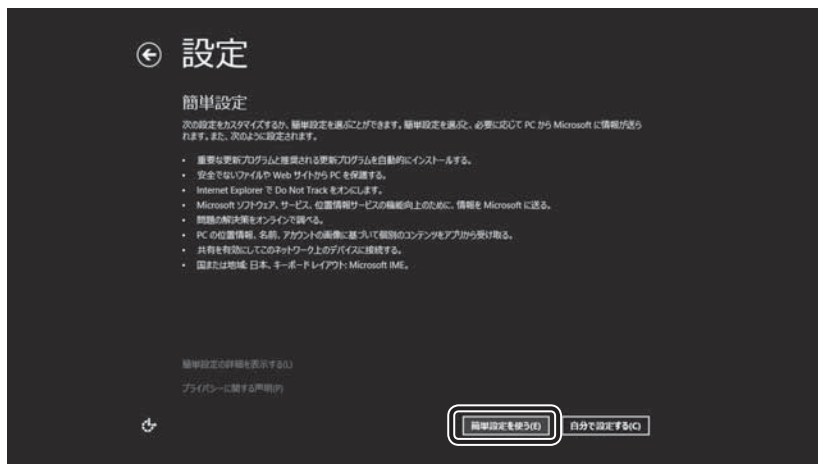


(表示例)

[設定] 画面が表示されます。

10 [簡単設定を使う] をクリックする

パソコンを使用するうえでの基本的な設定は、セットアップ完了後に変更できるので、ここでは「簡単設定」を選択した場合について説明します。



[お使いのアカウント] 画面が表示されます。

**次の手順の前に「ユーザー名」とは**

ユーザー名は、Windows を使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。必ず設定してください。

管理者ユーザーとは、ネットワークやパソコンを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windows のセットアップ後に登録できます。

11**ユーザー名を入力する**

[ユーザー名]と書いてある右の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

④ お使いのアカウント

パスワードを作る場合は、覚えておく人からは確認されにくくする必要があります。

ユーザー名 (U)

パスワード (P)

パスワードの確認入力 (C)

パスワードのヒント (H)

完了 (F)

■ ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

**次の手順の前に「パスワード」(Windowsパスワード)とは**

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。

ここでは、Windowsを起動するときに入力しないと、Windowsを起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windowsパスワード」と呼びます。

お願い

- パスワードを忘れると、Windowsを起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

12**パスワードを入力する**

[パスワード] と書いてある右の欄に、Windowsパスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windowsパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windowsパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。



入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

13 パスワードをもう一度入力する

[パスワードの確認入力] と書いてある右の欄に、手順 **12** で入力したWindowsパスワードを、もう一度入力してください。



次の手順の前に「パスワードのヒント」とは

設定したWindowsパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

14 パスワードのヒントを入力する

[パスワードのヒント] と書いてある右の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。



15 [完了] をクリックする



16 パソコンの設定が準備される

Windows セットアップが終了すると、コンピューターがユーザーの設定を準備します。しばらくお待ちください。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、**[SHIFT]** キーを押してください。次の画面に進みます。

パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。

Windows が起動します。




(表示例)

デスクトップ画面で「ウイルスバスター」の画面が表示された場合は、「2章 **2** - **3** ウィルスバスターによるウイルス対策」を確認してください。

「東芝サービスステーション」のメッセージが表示された場合は、次の「本項 **5** 「東芝サービスステーション」について」を確認してください。

メモ

- しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
もう一度表示するには、**[SHIFT]** キーを押すか、タッチパッドをさわってください。
[SHIFT] キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LED が点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

5 「東芝サービスステーション」について

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するためのソフトウェアです。以降の説明をお読みのうえ、「東芝サービスステーション」を使用して、本製品を最新の状態に保つことを強くおすすめします。

メモ

- 「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 「東芝サービスステーション」は、本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSのうち、一部についてアップデートをお知らせします。「あなたのdynabook.com」や「dynabook.com」の「よくある質問 FAQ」やウイルス・セキュリティ情報と「Microsoft Update」などをあわせてご利用ください。

使用方法

■ ソフトウェアのアップデートがある場合

本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSにアップデートがあることを検知すると、メッセージ「X件の新しいソフトウェアのアップデート（更新）があります。」が表示されます。



メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

■ 本製品に対するお知らせがある場合

本製品に対する当社からのお知らせが準備されたことを検出すると、メッセージ「X件の新しいお知らせがあります。」が表示されます。

メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

手動で、ソフトウェアのアップデート、またはお知らせを確認したい場合は、次の操作を行ってください。

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [TOSHIBA] の [ Service Station] をクリックする
「東芝サービスステーション」が起動します。
- ④ [すべてのアップデートを確認] をクリックする

6 Windows セットアップが終了したら

日付と時刻の確認

日付と時刻は、通知領域などに表示されています。

正しく設定されているかどうか確認してください。

正しく設定されていない場合は、日付と時刻を設定し直してください。

参照▶ 日付と時刻の設定について『困ったときは 2 章 1 - 3 - Q 内蔵時計が合っていない』

Windows を最新の状態にする

「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

参照▶ 「Windows Update」について『基本編 2 章 3 - 2 Windows を最新の状態にする』

リカバリーメディアの作成

リカバリーメディアを作成しておくことを強くおすすめします。

リカバリーメディアとは、システムやアプリケーションをご購入時の状態に復元（リカバリー）するためのものです。

参照▶ リカバリーメディアについて『便利編 3 章 1 リカバリーメディアを作る』

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照▶ リカバリーについて「4 章 4 パソコンを初期状態に戻す」

バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のパソコンのトラブルによって保存したファイルが使えなくなってしまうことがあります。

このような場合に備えて、あらかじめファイルを DVD-R や USB フラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

一度なくしたデータを復旧することはできません。

万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。

参照▶ バックアップについて『基本編 1 章 6 バックアップをとる』

5

Windows 8.1 について

Windows 8.1の画面構成やメニューの位置は、Windows 7などの従来のWindowsとは異なります。従来のWindowsとWindows 8.1で大きく異なる点は、メイン画面が2種類あることです。起動して最初に表示される「スタート画面」*¹と、従来のWindowsに似ている「デスクトップ画面」があります。

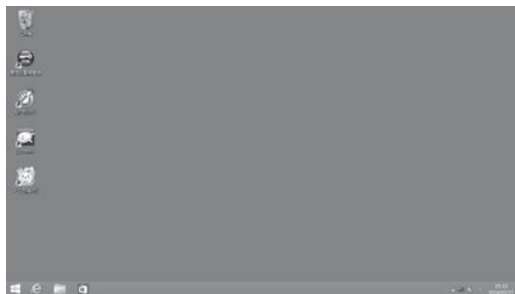
* 1 起動して最初に表示される画面をデスクトップ画面に変更することもできます。

<スタート画面>



(表示例)

<デスクトップ画面>



(表示例)

ここではWindows 8.1について簡単に説明します。あわせて『基本編』もご覧ください。

1 画面の切り替えについて

スタート画面とデスクトップ画面の切り替えかたについて説明します。

□ スタート画面からデスクトップ画面に切り替える

1 [デスクトップ] をクリックする

* [デスクトップ] アイコン (タイル) は、デスクトップ画面の壁紙によって表示されるアイコンが異なります。また、モデルや使用状況により、画面上での位置が異なる場合があります。



(表示例)

デスクトップ画面が表示されます。

□ デスクトップ画面からスタート画面に切り替える

1 [スタート] アイコン () をクリックする



(表示例)

スタート画面が表示されます。

メモ

- パソコンを起動して最初に表示される画面*¹を、スタート画面ではなく、デスクトップ画面に変更できます。

* 1 Windowsパスワードを設定している場合や、ほかのユーザーアカウントを登録している場合は、先に確認の画面が表示されます。

次の設定を行ってください。

- ① タスクバーを右クリックする
メニューが表示されます。
- ② [プロパティ] をクリックする
- ③ [ナビゲーション] タブをクリックし、[サインイン時または画面上のすべてのアプリを終了したときに、スタート画面ではなくデスクトップに移動する] をチェックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

2 チャームの操作について

「チャーム」と呼ばれるメニューバーの操作について説明します。

1 章

パソコンの準備

1 ポインターを画面の上または下の右隅に合わせる

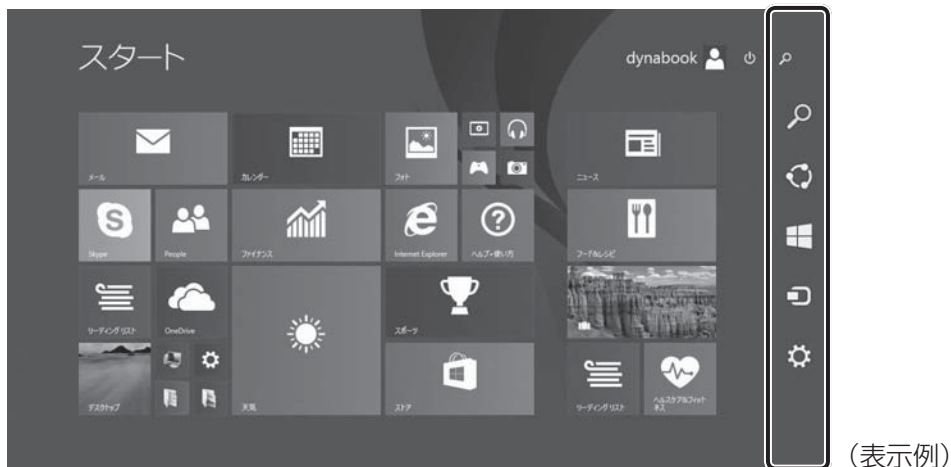
または、画面の右端から左に向かって指でスワイプしてください。








(表示例)

5つのメニューアイコンが表示されます。

2 目的の項目を選択する



(表示例)

| | |
|---|---|
|  検索 | 本製品内のアプリケーション、ファイル、機能などを検索します。インターネット上の情報検索もできます。 |
|  共有 | 共有するためのツールが用意されています。 |
|  スタート | 画面を切り替えます。 |
|  デバイス | パソコンに接続している周辺機器を表示します。 |
|  設定 | 設定メニューです。 |

3 アプリケーション一覧の表示について

アプリケーション一覧の表示方法について説明します。

1 スタート画面で、ポインターを動かす

あらかじめ、画面左下に  が表示されている場合は、この手順は必要ありません。





2 画面左下の をクリックする

[アプリ] 画面が表示されます。

タッチ操作の場合は、画面の下端以外の場所で下から上に指でスワイプすると、[アプリ] 画面が表示されます。

4 Windows 8.1 でわからない操作があったとき

Windows 8.1 の使い方について調べる方法には、次のようなものがあります。

- スタート画面やチャームの [検索] () を使って調べる
- スタート画面の「ヘルプ+使い方」() から調べる
- 「ヘルプとサポート」() から調べる
 - ① スタート画面で、ポインターを動かす
 - ② 画面左下の  をクリックする
 - ③ [Windows システムツール] の [ヘルプとサポート] をクリックする

また、Windows の最新情報は次のホームページから確認できます。

URL : <http://www.microsoft.com/>

Windows 8.1 の基本操作については、「動画で学ぶ Windows 8.1」をご覧ください。

6

電源を切る／入れる

1章

1 電源を切る

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

参照 ▶ スリープについて『基本編 1章 5 - 2 スリープ』

警告

● 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る

パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。

- ・ 無線通信機能は、**FN** + **F12** キーを押してOFFにすることができます。**FN** + **F12** キーを押して「機内モード オン」に設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
- ・ スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
- ・ 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
- ・ ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- ハードディスクドライブやメディアへのアクセス中、ディスプレイLEDの点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。


電源を切るには、次のように操作してください。

1 スタート画面右上の【電源オプション】() をクリックする


2 表示されたメニューから【シャットダウン】をクリックする



(表示例)

Windows を終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power  LEDが消灯します。

メモ

- タスクバーの【スタート】アイコン() を右クリックして、表示されるメニューから【シャットダウンまたはサインアウト】→【シャットダウン】をクリックしても、電源を切ることができます。
- システムが操作できなくなり、電源を切ることができない場合は、電源スイッチを5秒以上押しすと、強制的に電源を切る(強制終了)ことができます。
強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になり、保存されていないデータは消失します。


お願い 電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器(周辺機器)の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。
- 周辺機器の取り付け／取りはずし、BIOSセットアップの設定などを行う場合は、**[SHIFT]**キーを押しながら、メニューから【シャットダウン】をクリックしてください。


■再起動

Windowsを終了したあと、すぐにもう一度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。

再起動するには、次のように操作してください。

- ① スタート画面右上の「電源オプション」()をクリックする
- ② 表示されたメニューから「再起動」をクリックする

メモ

- タスクバーの「スタート」アイコン () を右クリックして、表示されるメニューから「シャットダウンまたはサインアウト」→「再起動」をクリックしても、再起動することができます。
-

2 電源を入れる

Windows セットアップを終えたあとは、次の手順で電源を入れます。

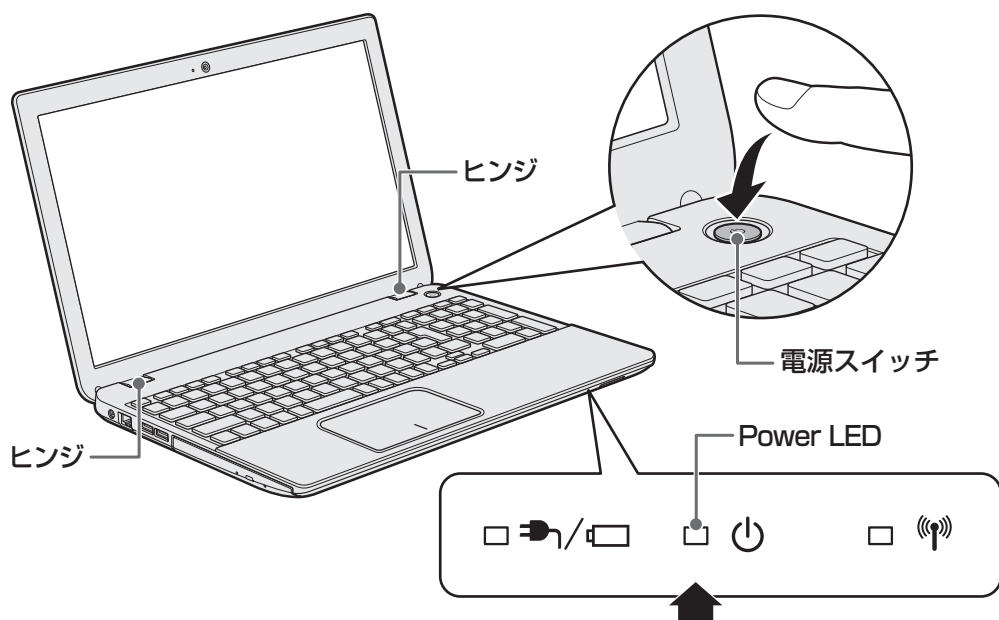
お願い 電源を入れる前に

- 各スロットに記録メディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、パソコン本体より先に周辺機器の電源を入れてください。

1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。

Power LED が白色に点灯することを確認してください。



ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、

[SHIFT] キーを押してください。

または、画面の下側から上に向かって指でスワイプしてください。

次の画面に進みます。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。

パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。


複数のユーザーで1台のパソコンを使用している場合、表示されているユーザーとは違うユーザーでサインインしたいときは、[ユーザーの切り替え] ボタン (👤) をクリックしてください。ユーザーの一覧が表示され、希望のユーザーを選択できます。

Windows が起動します。

 メモ

- パネルオープンパワーオン機能を有効に設定した場合、ディスプレイを開くと、自動的にパソコンの電源が入るようになります。




本機能を使用するには、あらかじめ次の設定を行い、有効にする必要があります。

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [TOSHIBA] の [システムセッティング] → [起動オプション] をクリックする
- ④ [パネルオープン パワーオン] を有効に設定し、[OK] ボタンをクリックする

参照 『基本編 1章 5 - 6』 ディスプレイを開くと、電源が入るようにする』


電源とバッテリーに関する表示

電源とバッテリーの状態はシステムインジケータの点灯状態で確認することができます。電源とバッテリーに関係あるインジケータとそれぞれの意味は次のとおりです。

| | 状態 | パソコン本体の状態 |
|---|----------|-------------------------------------|
| DC IN/Battery  /  LED | 白色の点灯 | 電源コードとACアダプターを接続している (バッテリー充電完了) |
| | オレンジ色の点灯 | 電源コードとACアダプターを接続している (バッテリー充電中) |
| | オレンジ色の点滅 | 充電が必要 |
| | 消灯 | 電源コードとACアダプターを接続していない |
| Power  LED | 白色の点灯 | 電源 ON |
| | 白色の点滅 | スリープ中 |
| | 消灯 | 電源 OFF、休止状態 |

* 電源とバッテリーに関するトラブルについては、「5章 2 Q&A集」を参照してください。

 メモ

- しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**[SHIFT]** キーを押すか、タッチパッドをさわってください。**[SHIFT]** キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

本製品には、冊子のマニュアルと、本書をはじめとしたパソコンの画面で見る電子マニュアルがあります。知りたいことに合わせて、各マニュアルをお読みください。

本製品の操作説明は、大半がパソコンの画面に表示させて見るマニュアル（電子マニュアル）にあります。紙の冊子マニュアルをできるだけ少なくすることによって、少しでも環境保全に役立てるよう、エコ活動を推進しております。

1 冊子マニュアル

ここでは、本製品に付属している次のマニュアルについて説明します。

□ スタートアップガイド

パソコンを使い始めるときにお読みください。

パソコンを購入して最初にする準備を、簡潔に説明しています。

□ dynabook ガイド（取扱説明書）

各部の名称やバッテリーについて、トラブルが起きたときの基本的なQ&A、リカバリー（購入時の状態に戻す）方法などについて説明しています。

このほかにも、モデルによって付属しているマニュアルがありますので、必要に応じてお読みください。

2 パソコンの画面で見るマニュアル

ここでは、パソコンの画面で見るマニュアル（電子マニュアル）について紹介します。

1 章


パソコンの準備



パソコンで見るマニュアル

基本的な操作から活用方法、困ったときの対処方法などを説明しています。

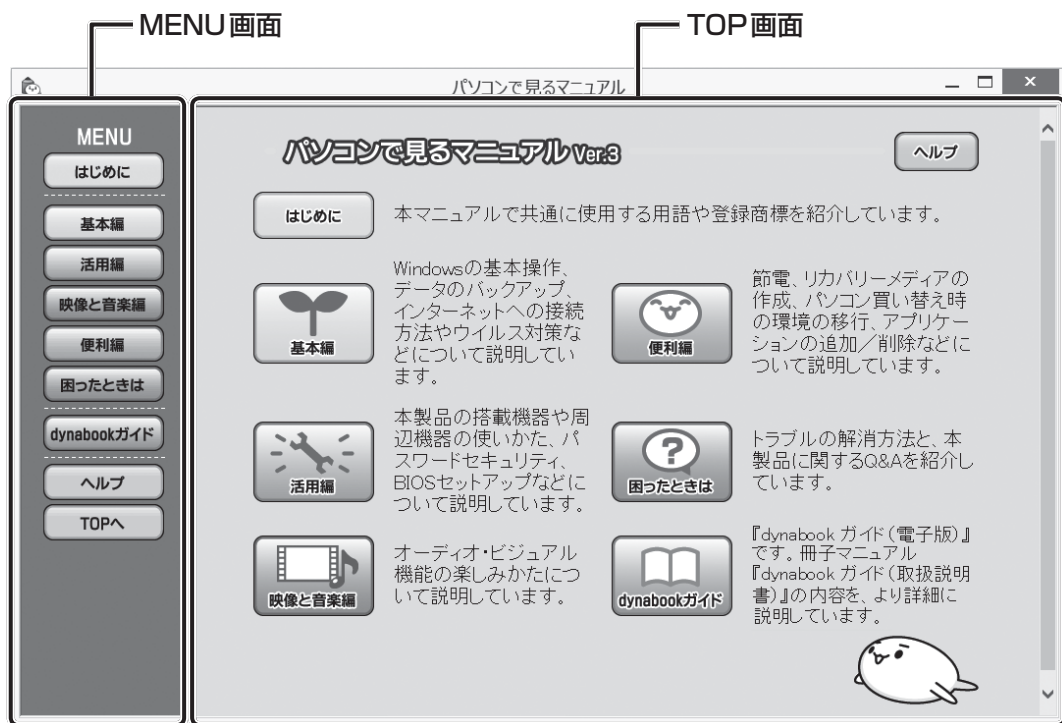
□ 起動方法

スタート画面の [デスクトップ] をクリックし、デスクトップ上の [パソコンで見るマニュアル] アイコン () をダブルクリックします。

起動すると『パソコンで見るマニュアル』のトップページが表示されます。

画面左側のMENU画面または画面右側のTOP画面から、読みたい編の名前のボタンをクリックしてください。

TOP画面が読みたい編に切り替わります。



(表示例)

メモ

- 「Adobe Reader」の使用許諾画面が表示された場合は、画面の内容をよく読み、[同意する] をクリックしてください。

□ 各編の内容

「パソコンで見るマニュアル」は次の内容で構成されています。

| | |
|--------------|---|
| はじめに | Trademarks、用語について |
| 基本編 | Windows 8.1 について、マウスの使いかた、電源の切りかた、バックアップ、インターネットへの接続・設定方法、無線LAN、ウイルス対策 |
| 活用編 | 本製品にどんな機能があるのか、どんな周辺機器が使えるのか、各種パスワードの設定方法、BIOS セットアップ、ハードウェアの設定方法 |
| 映像と音楽編 | オーディオ・ビジュアル機能の楽しみかた |
| 便利編 | 節電、リカバリーメディアの作成、パソコン買い替え時の環境移行、アプリケーションの追加と削除方法 |
| 困ったときは | トラブルを解消するまでの流れ、Q&A 集 |
| dynabook ガイド | 『dynabook ガイド(電子版)』(本書)です。冊子マニュアル『dynabook ガイド (取扱説明書)』の内容を、より詳細に説明しています。 |

□ 各編を開いたら

画面の構成やアイコンの機能は、次のようになっています。

各ボタンを押すと、表示がほかの編などに切り替わります。

印刷します。

ページを順番に送ったり戻したりします。マウスのスクロールボタンや、矢印キーでも同じ操作ができます。

表示を拡大／縮小します。



検索画面が開きます。

(表示例)

□ 検索する

キーワード検索で読みたいページを探することができます。
検索対象は、同一文書内となります。

1 章

パソコンの準備

1 画面左側の【検索の結果を表示】（）をクリックする

【検索】画面が表示されます。

2 【検索する語句を指定してください。】の下の入力欄に検索したいキーワードを入力し①、【検索】ボタンをクリックする②

検索結果を絞り込みたい場合は、必要に応じて入力欄の下にある項目にチェックを付けてください。



（表示例）

検索結果が表示されます。

3 検索結果から、確認したい項目をクリックする

該当する箇所にカーソルが移動します。

□ 印刷する

『パソコンで見るマニュアル』の印刷方法は、次のとおりです。

* 印刷には、プリンターが必要です。

1 ツールバーの【ファイルを印刷】（）をクリックする

【印刷】画面が表示されます。

2 必要に応じて、【プリンター】や【印刷するページ】など、各種設定をする

3 【印刷】ボタンをクリックする



『パソコンで見るマニュアル』のより詳しい使いかたは、ヘルプを参照してください。ヘルプは『パソコンで見るマニュアル』画面で【ヘルプ】ボタンをクリックすると表示されます。



動画で学ぶシリーズ

「動画で学ぶシリーズ」では、ぱらちゃんが、パソコンを楽しむためのいろいろな機能を動画でわかりやすく紹介しています。

■ 起動方法



- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [ 動画で学ぶシリーズ] をクリックする



おたすけナビ

「おたすけナビ」は、お使いのパソコンに用意されているアプリケーションの中から、目的のアプリケーションをすばやく探し出し、直接起動することができます。やりたいことはわかっているけれど、どのアプリケーションを使えばよいかわからないときに便利な機能です。

■ 起動方法

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [ 東芝おたすけナビ] をクリックする



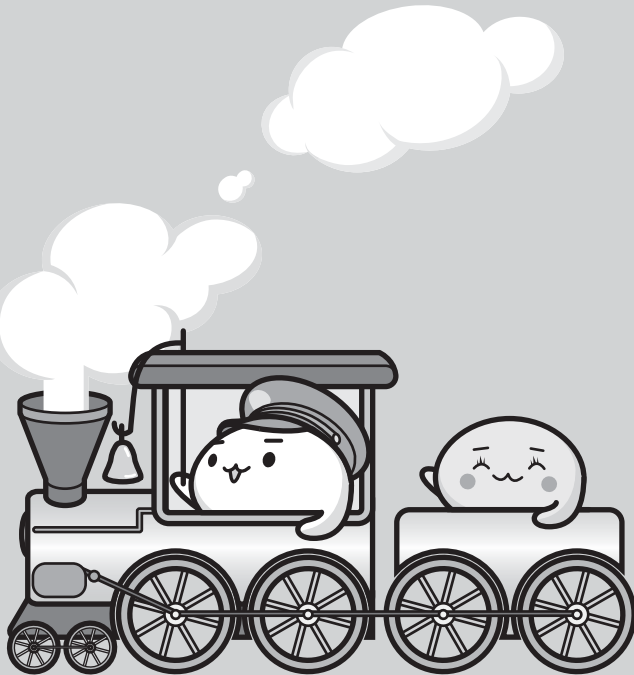
(表示例)

2章

インターネットを快適に利用するために —ウイルスチェック／セキュリティ対策—

インターネットを使っていると、コンピューターウイルスなどによって知らない間にトラブルが襲いかかってくるおそれがあります。この章では、インターネットを使うための準備と、より安全にインターネットを利用する方法について説明します。

- 1 インターネットを使うには 60
- 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには
—ウイルス・インターネットセキュリティ— 66
- 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する..... 70



1 インターネットを使うには

インターネットを使うには、次のような流れで準備してください。

2章

インターネットを快適に利用するために
ウイルスチェック／セキュリティ対策

プロバイダーに加入する

プロバイダーとはインターネット接続の窓口となる会社のことです。会社によって使用料金やサービス内容が異なります。使用できるまでに数日かかる場合があります。

インターネットに接続するための回線機器と、パソコンを接続する

インターネットへの接続方法によって接続する機器は異なります。

参照 有線LANで接続する「本節 **1** 有線LANで接続する」

参照 無線LANで接続する

「本節 **2** 無線LANで接続する」、

『基本編 2章 **2** - **1** 無線LANでインターネットに接続する』

ウイルスチェックソフトの利用を開始する

インターネットやメールに添付されたファイルなどでコンピューターウイルスに感染する場合があります。感染すると、パソコンが使用できなくなることがありますので、あらかじめウイルスチェックソフトの設定をしてください。

参照 ウイルスチェックソフトについて「本章 **2** ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

インターネットの設定をする

インターネットの設定をするときは、プロバイダーとの契約時に送られてきた資料などを参照してください。

ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する

ウイルス定義ファイル（パターンファイル）を最新のものに更新してください。

参照 ウイルスチェックソフトのヘルプ

メールの設定をする

メールを使う場合は、メールソフトの設定が必要です。

参照 「本節 **3** メールを使用するために」、

『メールソフトに付属の説明書』、メールソフトのヘルプ

設定完了

 メモ

- 本製品に用意されているウイルスチェックソフトの設定をする前に、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。日付と時刻が合っていないと、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。

参照▶ 日付と時刻の設定について『困ったときは 2章 1 - 3 - Q 内蔵時計が合っていない』

1 有線LANで接続する

本製品には、ブロードバンド接続などに使用する^{ラン}LAN機能が搭載されています。本製品のLANコネクタに光回線終端装置、ADSLモデムやブロードバンドルーターなどをLANケーブルで接続することができます。

また、本製品のLAN機能は、Gigabit Ethernet (1000BASE-T)、Fast Ethernet (100BASE-TX)、Ethernet (10BASE-T) ^{イーサネット}に対応しています。LANコネクタにLANケーブルを接続し、ネットワークに接続することができます。Gigabit Ethernet、Fast Ethernet、Ethernetは、ご使用のネットワーク環境（接続機器、ケーブル、ノイズなど）により、自動で切り替わります。

1 LANケーブルを接続する

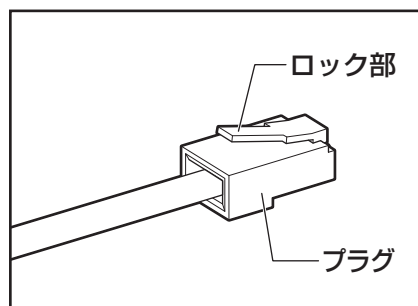
お願い LANケーブルの操作にあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 3 有線LANについて」

LANケーブルをはずしたり差し込むときは、プラグの部分を持って行ってください。また、はずすときは、プラグのロック部を押しながらはずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。

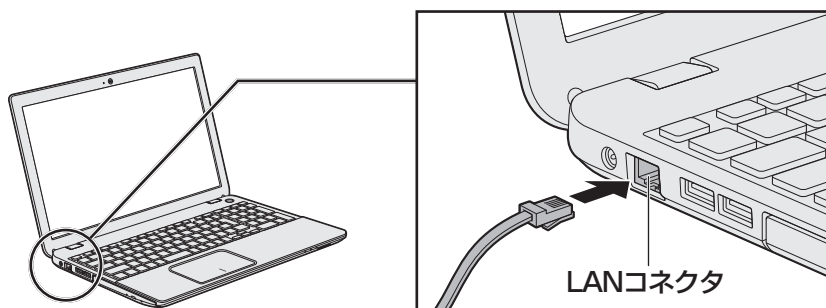
LANケーブルは本製品には付属していません。市販のLANケーブルを購入してください。



1 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

2 LANケーブルのプラグをパソコン本体のLANコネクタに差し込む

ロック部を下にして、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



3 LANケーブルのもう一方のプラグを接続先のネットワーク機器のコネクタに差し込む

接続する機器により、以降の設定方法は異なります。

参照▶ 光回線終端装置、ADSLモデムの設定について
『プロバイダーなどから送られてくる資料』

参照▶ ブロードバンドルーターの設定について『ブロードバンドルーターに付属の説明書』

2 章

2 無線LANで接続する

警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - ・ 無線通信機能は、**FN** + **F12** キーを押してOFFにすることができます。**FN** + **F12** キーを押して [機内モード オン] に設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
 - ・ スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - ・ 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
 - ・ ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い

- あらかじめ、次の説明を確認してください。
 - 参照**▶ 「付録 1 - 4 無線LANについて」
- 『安心してお使いいただくために』に、セキュリティに関する注意事項や使用上の注意事項を説明しています。
無線LANを使用する場合は、その記述を読んで、セキュリティの設定を行ってください。

1

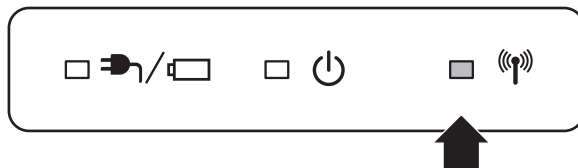
FN + **F12** キーを押して、**[機内モード オフ]** にする

FN キーを押したまま **F12** キーを押すたびに、画面左上にメッセージが表示されて無線通信機能のON/OFFが切り替わります。

機内モード オフ：無線通信機能ON

機内モード オン：無線通信機能OFF

無線通信機能をONにすると、ワイヤレスコミュニケーション (無線) LEDが点灯します。



参照 ▶ 以降の無線LANの設定について『基本編 2章 2-2 無線LANを設定する』

2章

インターネットを快適に利用するために—ウイルスチェック／セキュリティ対策—

3 メールを使用するために

メールを使用するには、メールソフトでの設定が必要です。

メールソフトには、Windowsのメール機能や、Office搭載モデルの場合は「Outlook 2013」などがあります。

● Windowsのメール機能の起動方法

① スタート画面の [メール] をクリックする

Windowsのメール機能を使用するには、Microsoft アカウントが必要です。

参照▶ 詳細について『基本編 2章 9 Microsoft アカウントについて』

● 「Outlook 2013」の起動方法

「Outlook 2013」を使用するにはライセンス認証が必要です。

① 初めて「Office」を起動する場合は、スタート画面の [Microsoft Office] をクリックする

以降は、画面の指示に従ってください。

ライセンス認証にはプロダクトキーが必要です。

プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。

② スタート画面の [Outlook 2013] をクリックする

初めて「Outlook 2013」を起動したときは、「Outlook 2013へようこそ」という画面が表示されます。必要に応じて、設定を行ってください。

「Outlook 2013」の使いかたについては、起動後 [Microsoft Outlookヘルプ] ボタン(?) をクリックして表示されるヘルプを参照してください。

メモ

● メールを送受信を行う前にウイルスチェックソフトを設定することをおすすめします。

参照▶ ウイルスチェックソフトについて「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

本製品に用意されているウイルス・インターネットセキュリティ用のアプリケーションを紹介します。

お願い 使用するにあたって


- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「付録 1 - 5 ウイルスチェック・セキュリティ対策について」

役立つ操作集

アクション センターについて

「アクション センター」は、セキュリティの設定をしたり、Windows ファイアウォール、自動更新、ウイルスチェックソフトの状態をチェックしたりするなど、パソコンのセキュリティを向上させるお手伝いをします。

アクション センターはパソコンが危険にさらされている場合、通知領域に  アイコンなどで警告します。

参照 ▶ 『基本編 2章 3 - 1 セキュリティの状態を確認するには』

1 コンピューターウイルス対策

コンピューターウイルスは、インターネットや、メールに添付されたファイルを介してパソコンに入り込んでしまうことがあります。

コンピューターウイルスに感染すると、次のようなことがおこる可能性があります。

- パソコンのデータが破壊され、パソコンを使用できなくなる
- インターネットを経由して、パソコンに残している個人情報にアクセスされる

コンピューターウイルスの感染や不正アクセスからパソコンを保護するため、初めてインターネットに接続したりメールを送受信する前に、ウイルスチェック機能があるソフトをインストールしてください。インストール後も、普段から定期的にコンピューターウイルスの検出を行うようにしてください。

本製品には、次のソフトが用意されています。

● ウイルスバスター

ウイルスの発見や駆除、個人情報保護やネットワークセキュリティ対策ができるアプリケーションです。

参照 ▶ ウイルスバスターについて「本節 3 ウイルスバスターによるウイルス対策」

本製品に用意されている「ウイルスバスター」以外のソフトを使用する場合

本製品に用意されている「ウイルスバスター」以外のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを使用する場合は、「ウイルスバスター」をパソコンからアンインストール（削除）してから、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールしてください。アンインストールは、「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」で行います。

参照 ▶ アンインストール方法『便利編 7章 2 アプリケーションの削除』

2 インターネットをより安全に楽しむために

インターネットを利用すると、いろいろな情報を見ることができて大変便利です。しかしその反面、インターネット上には次のような有害なものが存在します。

- ・ コンピューターウイルス
パソコンに侵入し、パソコン内に保存してあるデータを破壊するなどの悪さを行います。
- ・ スパイウェア
パソコンに侵入し、パソコン内の情報（氏名やパスワード、ホームページの閲覧履歴など）を第三者に流出します。
- ・ 有害サイト
お子様に適さないサイトや、ウイルスに感染しているサイトなど、ユーザーに悪影響を与えるおそれがあるサイトです。

ウイルスチェックソフト、スパイウェア対策ソフト、有害サイト閲覧制限ソフトを上手に使うことで、快適にインターネットを楽しみましょう。

メモ

- 本製品にはユーザーの年齢やホームページのカテゴリによって表示するサイトを制限できる「i-フィルター6.0」が用意されています。

参照 ▶ 「i-フィルター6.0」について「本章 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する」

3 ウイルスバスターによるウイルス対策

本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、90日間の使用期限がある体験版です。使用するには、インストールする必要があります。

メモ

- Windows セットアップで「使用許諾契約に同意しウイルスバスターの利用を開始します。」をチェックしている場合、自動的に「ウイルスバスター」がインストールされ、メールアドレスの入力画面が表示されます。メールアドレスを既に持っている場合は入力し、「完了」ボタンをクリックしてください。メールアドレスは登録しなくても使用できます。

「ウイルスバスター」には、次のような機能があります。

- コンピューターウイルスを検出／除去する
- フィッシング詐欺への対策をする
- 迷惑メールや詐欺メールを判定して処理する
- スパイウェアを検出して処理する
- 有害サイトへのアクセスを制限する
- 個人情報の漏えいを防止する

など

詳しくは、ヘルプを確認してください。

自動的にインストールされない場合は、次の手順でインストールしてください。

インストール手順

1 スタート画面の【デスクトップ】をクリックする

デスクトップ画面が表示されます。

2 【ウイルスバスターの登録とご利用継続】アイコン()をダブルクリックする

【ウイルスバスター クラウド】画面が表示されます。

3 【今すぐ開始】をクリックする

4 【同意する】をクリックする

以降は、画面に従って操作してください。メールアドレスは登録しなくても使用できます。

ヘルプの起動

ヘルプを見るためには、インターネットに接続する必要があります。

1 通知領域の [ウイルスバスター] アイコン () をダブルクリックする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をクリックしてください。

[ウイルスバスター クラウド] 画面が表示されます。

2 [ウイルスバスター クラウド] 画面で [ヘルプ] ボタン () をクリックし①、表示されたメニューから [オンラインヘルプ] をクリックする②



[オンラインヘルプ] 画面が表示されます。

参照 「ウイルスバスター」のお問い合わせ先「5章 4 - 2」アプリケーションのお問い合わせ先」

3

有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する

インターネットに接続すると、世界中のいろいろなホームページを見ることができます。ニュースを読む、買い物をする、調べ物をするなど便利な使いかたもできますが、なかには有害なホームページもあります。

有害なホームページへのアクセスを遮断する「i-フィルター6.0」を使用することをおすすめします。

2章

インターネットを快適に利用するために
—ウイルスチェック／セキュリティ対策—

1 i-フィルター6.0

本製品には、フィルタリング機能をもつアプリケーションとして「i-フィルター6.0」が用意されています。「i-フィルター6.0」は、ユーザーの年齢やホームページのカテゴリによってアクセスを制限し、有害なホームページは表示しないように設定することができます。

お願い 使用期限について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 **1** - **6** 「i-フィルター6.0」について」

「i-フィルター6.0」の使いかたについては、『基本編 2章 **5** - **1** i-フィルター6.0を使う』をご確認ください。

3章

パソコンの使用環境を整えよう

この章では、接続できる周辺機器、Bluetoothマウスを使用するための準備、充電や充電量の確認などバッテリーの取り扱い方法や、メモリの増設方法などについて説明しています。

- 1 周辺機器を使う前に 72
- 2 Bluetoothマウスについて 73
- 3 バッテリーについて 78
- 4 メモリを増設する 83



1

周辺機器を使う前に

周辺機器とは、パソコンに接続して使う機器のことで、デバイスともいいます。周辺機器を使うと、パソコンの性能を高めたり、パソコンが持っていない機能を追加することができます。

周辺機器は、パソコン本体の周囲にあるコネクタや端子につながります。

本製品のインターフェースに合った周辺機器をご利用ください。

周辺機器によっては、インターフェースなどの規格が異なることがあります。インターフェースとは、機器を接続するときのケーブルやコネクタや端子の形状などの規格のことです。

購入される際には、目的に合った機能を持ち、本製品に対応している周辺機器をお選びください。

周辺機器が本製品に対応しているかどうかについては、その周辺機器のメーカーに確認してください。

お願い 周辺機器の取り付け／取りはずしにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ 「付録 1 - 7 - パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて」

次の周辺機器が使用できます。

- テレビ
- 外部ディスプレイ
- マイクロホン
- ヘッドホン
- オーディオ機器
 - * スリープアンドミュージック機能使用時のみ
- USB対応機器（マウス、プリンター、USBフラッシュメモリなど）
- Bluetooth対応機器（マウス、キーボードなど）

参照▶ 『活用編 1章 パソコンの機能を活用する』

Bluetoothマウス付属モデルの場合、Bluetoothマウスについては「本章 **2** Bluetoothマウスについて」を参照してください。

*** Bluetooth マウス付属モデルのみ**

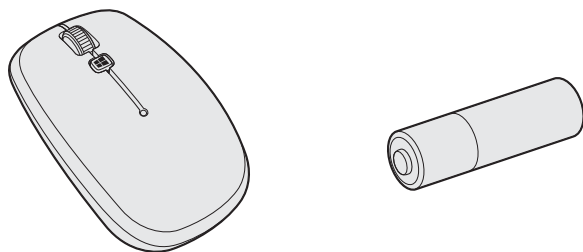
Bluetooth マウス（ケーブル無しマウス）は、Bluetooth通信でパソコンと接続して使用するマウスです。

初めてBluetooth マウスを使用するときには、次の準備が必要です。

1 Bluetooth マウスの準備

Bluetooth マウスと付属品は次のとおりです。

- Bluetooth マウス
- 単3形乾電池2個



使用している乾電池が消耗すると、Bluetooth マウスを操作できなくなります。電池交換が必要になると、Bluetooth マウスの表側にあるバッテリーLEDが赤色に点滅します。その場合は、使用できる乾電池をお確かめのうえご購入いただき、それまで使用していた乾電池を取りはずしてから、新しい乾電池を取り付けてください。

* 付属の単3形乾電池は動作確認用です。単3形アルカリ乾電池の使用を推奨します。

⚠ 注意

- Bluetooth マウス底面の光学式センサー孔の赤色などの光を直接見ないでください。目を痛めるおそれがあります。

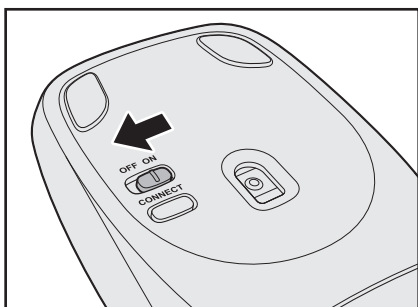
🧠 メモ

- 一部Bluetooth マウスを使用できない操作があります。この場合は、タッチパッド、またはUSB マウス（市販品）で操作を行ってください。
- Bluetooth マウスを使用しないときは、Bluetooth マウスの電源を切っておくことをおすすめします。

1 Bluetooth マウスの乾電池の取り付け／取りはずし

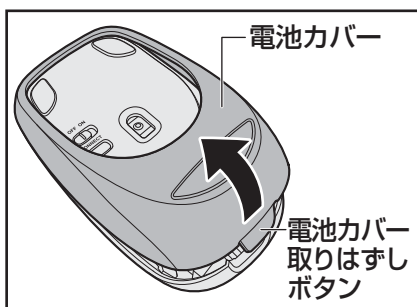
Bluetooth マウスの乾電池の取り付け／取りはずし方法について説明します。

1 Bluetooth マウスの裏側にある電源スイッチを OFF 側にスライドする



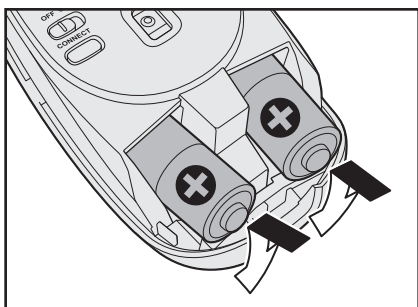
2 Bluetooth マウス裏側の電池カバーを開ける

Bluetooth マウス後部の電池カバー取りはずしボタンを押しながら、電池カバーを開けます。



3 乾電池をセット／交換する

+ (プラス)、- (マイナス) をよく確認してセット／交換してください。



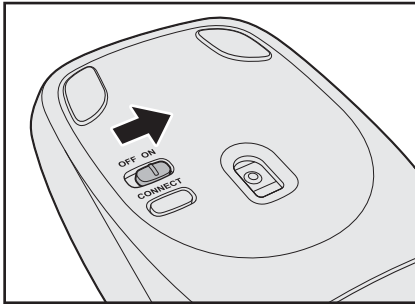
4 電池カバーを閉める

「カチッ」という音がするまで押してください。

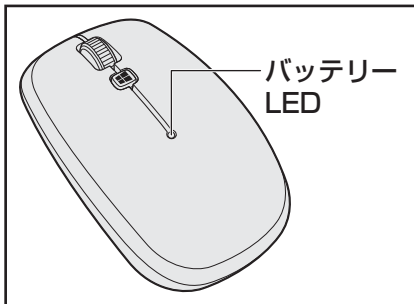
2 Bluetooth マウスの電源を入れる

乾電池をセットしたら、Bluetooth マウスの電源を入れてください。

1 Bluetooth マウスの裏側にある電源スイッチを ON 側にスライドする



電源を入れると、Bluetooth マウスの表側にあるバッテリーLEDが約2秒間青色に点灯します。電池交換が必要になると赤色に点滅します。



3 Bluetooth マウスを Bluetooth で接続する

Bluetooth マウスとパソコン本体を Bluetooth 通信で接続します。

警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - ・ 無線通信機能は、**FN** + **F12** キーを押してOFFにすることができます。**FN** + **F12** キーを押して [機内モード オン] に設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
 - ・ Bluetooth マウスの電源を切ってください。
 - ・ スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - ・ 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
 - ・ ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

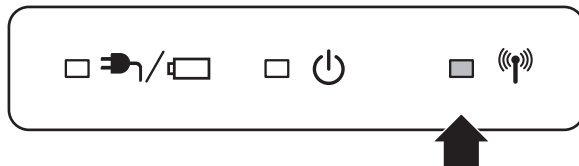
1 **FN** + **F12** キーを押して、[機内モード オフ] にする

FN キーを押したまま **F12** キーを押すたびに、画面左上にメッセージが表示されて無線通信機能のON/OFFが切り替わります。

機内モード オフ：無線通信機能ON

機内モード オン：無線通信機能OFF

無線通信機能をONにすると、ワイヤレスコミュニケーション  LEDが点灯します。



2 ポインターを画面の上または下の右隅に合わせる

チャームが表示されます。

参照 ▶ チャームの操作方法『基本編 1章 1 - 4 - 1 チャームの操作方法』

3 [設定] をクリックする

画面右側に [設定] 画面が表示されます。

4 [PC 設定の変更] をクリックする

[PC 設定] 画面が表示されます。

5 [PC とデバイス] をクリックする

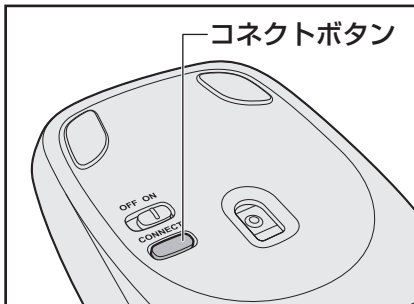
[PC とデバイス] 画面が表示されます。

6 [Bluetooth] をクリックして、[Bluetooth] を [オン] に設定する

[オン] にすると、パソコン本体の Bluetooth 機能が ON になります。

7 Bluetooth マウス（電源が入っている状態）をパソコンに近づけて、コネクトボタンを押す

コネクトボタンを押すと、Bluetooth マウスの表側にあるバッテリー LED が青色に点滅します。



Bluetooth マウスが自動的に検出され、パソコンの画面に [Bluetooth Mouse ペアリングの準備完了] が表示されます。

8 [Bluetooth Mouse ペアリングの準備完了] をクリックし、表示された [ペアリング] をクリックする

Bluetooth マウスとパソコン本体のペアリング設定が開始され、終了すると [接続済み] と表示されます。

これで Bluetooth マウスが使用できるようになります。

参照 ▶ Bluetooth マウスの使いかた『基本編 1 章 **4** - **1** マウスの操作方法』

参照 ▶ [PC 設定] 画面を閉じる『基本編 1 章 **2** - **2** アプリケーションの終了方法』



- Bluetooth マウスがパソコン本体から離れ過ぎると、操作できない場合があります。
- Bluetooth マウスの仕様については『基本編 付録 **3** Bluetooth マウスについて』をご覧ください。

3

バッテリーについて

本製品には、バッテリーパックが内蔵されています。

本製品を初めて使用するときは、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーパックを充電してください。

バッテリーパックを充電すると、バッテリー駆動（電源コードとACアダプターを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめバッテリーパックの充電を完了（フル充電）させてください。

指定する方法・環境以外でバッテリーパックを使用した場合には、発熱、発火、破裂するなどの可能性があり、人身事故につながりかねない場合がありますので、十分ご注意をお願いします。『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠ 危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
寿命などで交換する場合は、東芝PCあんしんサポートに依頼してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い バッテリーを使用するにあたって



- あらかじめ、次の説明を確認してください。

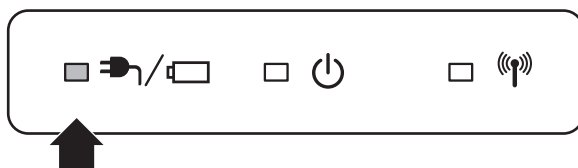
参照 「付録 **1** - **8** バッテリーについて」

1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

1 システムインジケータで確認する





電源コードとACアダプターを接続している場合、DC IN/Battery  /  LEDが点灯します。



DC IN/Battery  /  LEDは次の状態を示しています。

| | |
|----------|--|
| 白色の点灯 | 充電完了 |
| オレンジ色の点灯 | 充電中 |
| オレンジ色の点滅 | 充電が必要 参照 ▶ バッテリーの充電について「本節 2 バッテリーを充電する」 |
| 消灯 | 電源コードとACアダプターが接続されていない 電源コードとACアダプターを接続しても消灯している場合は、バッテリー異常の可能性があります。東芝PCあんしんサポートに連絡してください。 |

2 通知領域の【バッテリー】アイコンで確認する



通知領域の【バッテリー】アイコン（ または ）の上にポインターを置くと、バッテリー充電量が表示されます。【バッテリー】アイコン（ または ）をクリックすると、電源プランなども表示されます。



参照 ▶ 省電力設定（電源プラン）について『便利編 2章 **2** 「電源オプション」で省電力の設定をする』

3 バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量が少なくなると、次のように警告します。

- DC IN/Battery  /  LED がオレンジ色に点滅する (バッテリーの残量が少ないことを示しています)
- バッテリーのアラームが動作する
「電源オプション」で [プラン設定の変更] → [詳細な電源設定の変更] をクリックして表示される [詳細設定] タブの [バッテリー] → [低残量バッテリーの通知] や [低残量バッテリーの動作] で設定すると、バッテリーの残量が少なくなったことを通知したり、自動的に対処する動作を行います。





参照 省電力設定 (電源オプション) について

『便利編 2章 2 「電源オプション」で省電力の設定をする』

上記のような警告が起こった場合はただちにパソコン本体に電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。

購入時は休止状態が設定されています。バッテリー減少の警告が起こっても何も対処しなかった場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源が切れます。

メモ

- 1ヵ月以上の長期にわたり、電源コードとACアダプターを接続したままパソコンを使用してバッテリー駆動を行わないと、バッテリー充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリー充電量が減少したときは、DC IN/Battery  /  LED や [バッテリー] アイコンで充電量の減少が表示されないことがあります。1ヵ月に1度は再充電することを推奨します。
- 長時間使用しないでバッテリーが自然に放電しきってしまったときは、警告音も鳴らず、DC IN/Battery  /  LED でも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

4 時計用電池

本製品には、バッテリーパックのほかに、内蔵時計を動かすための時計用電池が内蔵されています。

時計用電池が切れると、メッセージが表示されます。

この場合、時計用電池を交換する必要がありますので、東芝PCあんしんサポートに相談してください。

2 バッテリーを充電する

充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。



お願い バッテリーを充電するにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。





参照 「付録 1 - 8 - バッテリーを充電するにあたって」

1 充電方法

1 パソコン本体にACアダプターを接続し、電源コードの電源プラグをコンセントに差し込む

DC IN/Battery  /  LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。電源のON/OFFにかかわらずフル充電になるまで充電されます。

2 DC IN/Battery / LEDが白色になるまで充電する

バッテリーの充電中はDC IN/Battery  /  LEDがオレンジ色に点灯します。DC IN/Battery  /  LEDが消灯している場合は、電源が供給されていません。電源コード、ACアダプターの接続を確認してください。

メモ

- パソコン本体を長時間で使用にならないときは、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 充電完了までの時間

バッテリー充電時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。周囲の温度が低いとき、バッテリーパックの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けているとき、アプリケーションを使用しているときは、充電完了まで時間がかかることがあります。詳しくは、『dynabook * * * * (お使いの機種名) シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

■ 使用できる時間

バッテリー駆動での使用時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。

詳しくは、『dynabook * * * * (お使いの機種名) シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

■ バッテリー駆動時の処理速度

高度な処理を要するソフトウェア（3Dグラフィックス使用など）を使用する場合は、十分な性能を発揮するために電源コードとACアダプターを接続してご使用ください。

■ 使っていないときの充電保持時間

パソコン本体を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。

バッテリーの保持時間は、放置環境などによって異なります。

スリープを実行した場合、放電しきるまでの時間が非常に短いため、バッテリー駆動時は休止状態、またはハイブリッドスリープにすることをおすすめします。

参照 ▶ ハイブリッドスリープについて『基本編 1章 5 - 2 スリープ』

メモ

- バッテリーパックは消耗品です。使いかたを工夫することで長持ちさせることができます。

参照 ▶ 詳細について『活用編 1章 10 - 1 バッテリーを長持ちさせる』

- バッテリーパックの交換は、有料になります。
-

メモリスロットに増設メモリを取り付けることができます。

ご購入のモデルによって、あらかじめ取り付けられているメモリの容量が異なります。

取り付けられているメモリを増設メモリ（東芝製オプション）と付け替えたり、メモリが取り付けられていないスロットに増設メモリ（東芝製オプション）を取り付けたりすることができます。

取り付けることのできるメモリの型番や容量については、『dynabook * * * *（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

モデルによっては、すでに最大容量のメモリが取り付けられている場合があります。その場合は、増設できません。

メモリの取り付け／取りはずし作業が難しい場合は、東芝PCあんしんサポート、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

警告

- 本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しない
内部には高電圧部分が多くあり、万が一触ると、感電ややけどのおそれがあります。

注意

- ステープル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れない
火災、感電の原因となります。万が一、機器内部に入った場合は、電源を入れずに、東芝PCあんしんサポート、またはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。
- メモリの取り付け／取りはずしは、BIOSセットアップで [Disable Built-in Battery, and Power Off] を実行して電源を切り、ACアダプターのプラグを抜いて、作業を行う
電源を入れたまま取り付け／取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。
- 電源を切った直後にメモリの取り付け／取りはずしを行わない
内部が高温になっており、やけどのおそれがあります。電源を切った後30分以上たってから行ってください。
- 指定された部品（メモリ、メモリスロット、メモリカバーなど）以外には手を触れない
外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。

お願い

メモリの増設の操作にあたって

- キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。
- その他の注意事項については、あらかじめ次の説明を確認してください。

参照▶ 「付録 1 - 7 - パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて」

「付録 1 - 7 - メモリの増設の操作にあたって」

4 メモリを増設する

増設メモリは、東芝製オプションを使用してください。それ以外のメモリを増設すると、起動しなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。



メモ デュアルチャンネルについて

- メモリを2枚装着した場合、デュアルチャンネルに対応します。デュアルチャンネルで動作すると、2枚のメモリに効率よくアクセスできます。容量が異なるメモリを装着した場合は、少ないメモリに合わせた容量までデュアルチャンネル動作となり、容量差分がシングルチャンネル動作となります。

3 章

パソコンの使用環境を整えよう

1 メモリを取り付ける

あらかじめ取り付けられているメモリを交換したい場合は、先にメモリの取りはずしを行ってください。

メモリカバーのネジをゆるめる際は、ネジの種類に合ったドライバーを使用してください。

参照▶「本節 2 メモリを取りはずす」

1 データを保存し、**[SHIFT]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

参照▶ 電源の切りかた「1章 6 - 1 電源を切る」

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 電源スイッチを押し、すぐに **[F2]** キーを数回押して、BIOS セットアップを起動する

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。

パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。

4 **[Exit]** メニューでカーソルを **[Disable Built-in Battery, and Power Off]** に合わせ、**[ENTER]** キーを押す



メモ

- 本設定を行うには、電源コードとACアダプターを接続しておく必要があります。

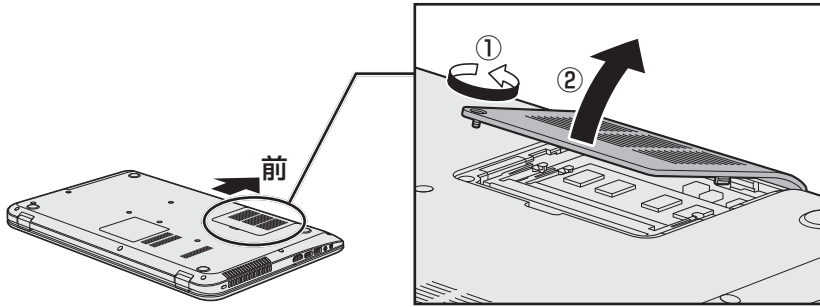
5 表示されたメッセージの内容を確認し、「Yes」を選択して、**[ENTER]** キーを押す

自動的にパソコンの電源が切れます。

6 電源コード、ACアダプター、その他のケーブル類をパソコン本体からはずす

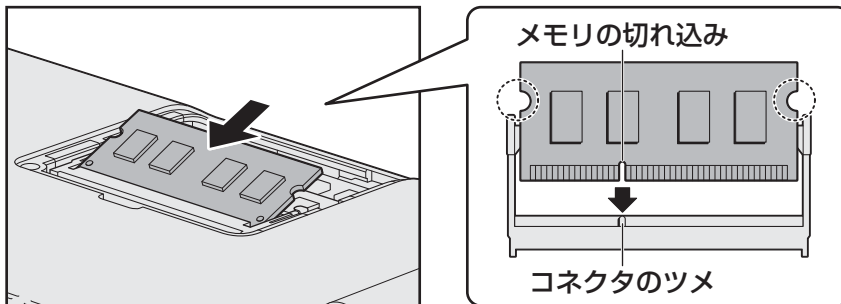
7 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

8 メモリカバーのネジ1本をゆるめ①、カバーをはずす②



メモリスロットの内部に異物が入らないようにしてください。

9 メモリをメモリスロットのコネクタに斜めに挿入する

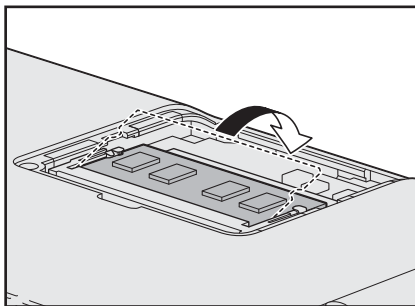


メモリの切れ込みを、メモリスロットのコネクタのツメに合わせて、しっかり差し込みます。このとき、メモリの両端（上図○で囲んだ部分）を持って差し込むようにしてください。

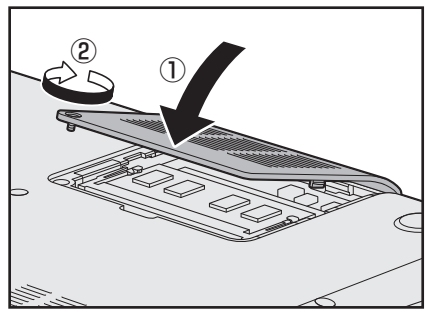
* モデルによってコネクタのツメの位置が異なる場合があります。

10 固定するまでメモリを倒す

「カチッ」と音がする位置までメモリを倒してください。



11 メモリカバーをつけて①、手順 **8** でゆるめたネジ1本をとめる②



メモリカバーが浮いていないことを確認してください。

12 電源コードとACアダプターを接続する

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

参照▶ メモリ容量の確認について「本節 **3** メモリ容量を確認する」

2 メモリを取りはずす

メモリカバーのネジをゆるめる際は、ネジの種類に合ったドライバーを使用してください。

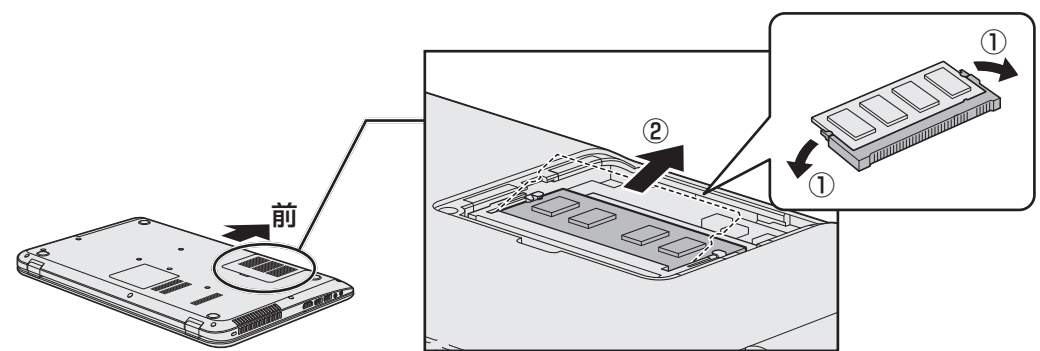
1 メモリを取りはずすための準備を行う

メモリを取り付ける作業と同様に「本節 **1** メモリを取り付ける」の手順 **1** ~ **7** の操作を必ず行ってください。

2 メモリカバーのネジ1本をゆるめ、カバーをははずす

メモリスロットの内部に異物が入らないようにしてください。

3 メモリを固定している左右のフックを開き①、メモリをパソコン本体から取りはずす②



斜めに持ち上がったメモリを引き抜きます。

4 メモリカバーをつけて、手順 **2** でゆるめたネジ1本をとめる
メモリカバーが浮いていないことを確認してください。

5 電源コードとACアダプターを接続する
パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

3 メモリ容量を確認する

メモリ容量は「東芝PCシステム情報」で確認することができます。

1 スタート画面で、ポインターを動かす

2 画面左下の  をクリックする

3 [TOSHIBA] の [ PCヘルスマニタ] をクリックする

4 画面左側から [PCシステム情報] をクリックする
「東芝PCシステム情報」が起動し、パソコンの基本情報が表示されます。

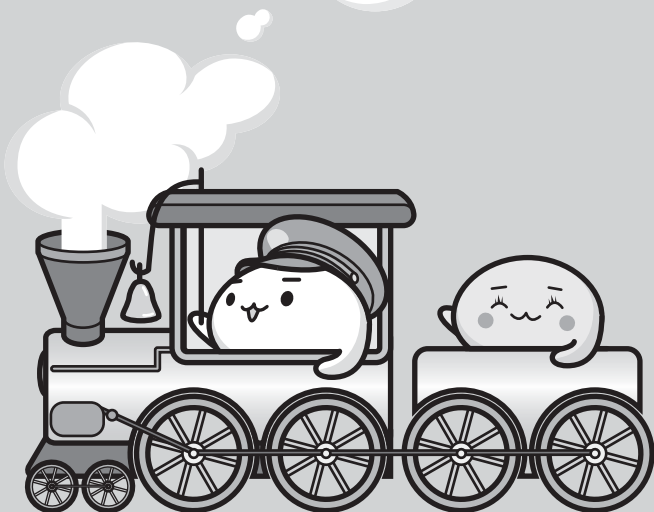
5 [物理メモリ] の数値を確認する

4章

■ パソコンを再セットアップするには

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル対処方法を試しても解決できなかったときに行う、パソコンのリフレッシュやリカバリーについて説明します。

- 1 パソコンの調子がおかしいときは 90
- 2 パソコンをリフレッシュする..... 92
- 3 バックアップをとる
(Windowsが起動しないとき)..... 97
- 4 パソコンを初期状態に戻す -リカバリー-..... 103
- 5 プレインストールのアプリケーションを
再インストールする..... 112



1

パソコンの調子がおかしいときは

パソコンの動作がおかしいと感じたときは、次の方法を実行してください。

次の方法を実行してみる

■ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。

参照▶ ウイルスチェックソフト「2章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

■ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

USB対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因の可能性があるため、それらを取りはずしてから、再起動してください。また、電源関連のトラブルの場合は、パソコンの電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してください。

参照▶ 機器の取りはずし「3章 パソコンの使用環境を整えよう」
『活用編 1章 パソコンの機能を活用する』

■ ほかのトラブル解消方法を探す

「5章 1 トラブルを解消するまでの流れ」、「5章 2 Q&A集」、『困ったときは』を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。

■ 「システムの復元」で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、パソコンに問題が発生したときに、個人用のデータを失わずにパソコンを以前の状態に復元するための機能です。

参照▶ 『困ったときは 1章 4 「詳細オプション」で調べる』

メモ

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、アプリケーションやドライバーの再インストールを行うことをおすすめします。

参照▶ 「本章 5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

それでも改善しない場合

パソコンをリフレッシュする

おもな個人データを消去せずに、Windowsを再インストールします。

参照▶ 「本章 2 パソコンをリフレッシュする」
巻末の「リフレッシュ/リカバリーチェックシート」

それでも改善しない場合

それでも改善しない場合

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）

個人データ、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などすべてを消去して、本製品を初期状態に戻します。大切なデータは、あらかじめバックアップしてください。

参照▶ 「本章 **3** バックアップをとる（Windowsが起動しないとき）」
「本章 **4** パソコンを初期状態に戻す」
巻末の「リフレッシュ／リカバリーチェックシート」

パソコンのリフレッシュ機能は、OSに搭載されているトラブルシューティングのツールです。Windowsの再インストールを行います。

パソコンをリフレッシュすると、一部のアプリケーションや設定などが消去されます。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにパソコンをリフレッシュしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- ハードディスクドライブにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*¹
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リフレッシュが必要」と診断された

*¹ ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度パソコンのリフレッシュを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。

パソコンのリフレッシュには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、パソコンのリフレッシュができなくなることがあります。
- パソコンのリフレッシュは、方法によっては、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリフレッシュを実行されないように、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード『活用編 2章 1 - 2 ユーザーパスワード』

■ リフレッシュにより消去される内容

パソコンをリフレッシュすると、次のものが消去されます。

- 本製品を購入後にインストールしたアプリケーション（Windowsストアからインストールしたアプリケーションは除く）
たとえば、プレインストールされていないプリンタードライバーなど
- アプリケーションの設定
- Windows Updateによる更新モジュール
- 東芝サービスステーションによる更新モジュール

■ 消去されない内容

- [ドキュメント]（または [マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または [マイ ピクチャー]）、デスクトップ上のデータなど、ハードディスク上のファイル（[ごみ箱] 内のファイルを除く）
- 本製品にプレインストールされているアプリケーション
- Windowsストアからインストールしたアプリケーション
- ユーザーアカウント
- インターネットや無線LAN／モバイルネットワークの接続設定
- デスクトップの設定（テーマや壁紙）
- [PC設定] の個人用設定

1 リフレッシュ前に行うこと

リフレッシュをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『dynabookガイド（取扱説明書）』
- 巻末の「リフレッシュ／リカバリーチェックシート」をコピーしたもの

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーションやプリンターなどの周辺機器のドライバー（Windowsストアからインストールしたアプリケーションは除く）は、リフレッシュ後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（CDなど）が、お手元にあることを確認してください。

また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合は、リフレッシュしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。ライセンス認証の際に必要なプロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージをご確認ください。

参照 ▶ 「はじめに - 13 「Office」のライセンス認証について」

各種設定を確認する

ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

周辺機器を取りはずす

プリンター、マウスなどの周辺機器やLANケーブルは取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 ▶ 機器の取りはずし「3章 パソコンの使用環境を整えよう」
『活用編 1章 パソコンの機能を活用する』

2 パソコンのリフレッシュを行う

Windows が起動する場合と起動しない場合とでは、手順が異なります。

1 Windows が起動する状態でリフレッシュする

次の操作は、管理者のユーザーアカウントで行う必要があります。

1 電源コードと AC アダプターを接続する

2 管理者のユーザーアカウントでサインインする

3 ポインターを画面の上または下の右隅に合わせる

チャームが表示されます。

参照▶ チャームの操作方法『基本編 1 章 1 - 4 - 1 チャームの操作方法』

4 [設定] をクリックする

画面右側に [設定] 画面が表示されます。

5 [PC 設定の変更] をクリックする

[PC 設定] 画面が表示されます。

6 [保守と管理] をクリックする

[保守と管理] 画面が表示されます。

7 [回復] をクリックし、[PC をリフレッシュする] の [開始する] をクリックする

以降は、画面の指示に従って操作してください。

リフレッシュが終わるまで、電源を切らないでください。

4 章

パソコンを再セットアップするには

2 Windows が起動しない状態でリフレッシュする

次の操作は、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

1 電源コードとACアダプターを接続する

2 電源スイッチを押し、すぐに **[0]**（ゼロ）キー（かな入力の **[わ]** キー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」から始まるメッセージが表示された場合は、手順 **3** に進んでください。

〔オプションの選択〕画面が表示された場合は、手順 **4** に進んでください。

3 「Yes」または「はい」を選択して、**[ENTER]** キーを押す

〔オプションの選択〕画面が表示されます。

4 「[トラブルシューティング]」をクリックする

〔トラブルシューティング〕画面が表示されます。

5 「[PCのリフレッシュ]」をクリックする

以降は、画面の指示に従って操作してください。

リフレッシュが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。

3 リフレッシュ後に行うこと

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定や更新、メールの再設定などを行ってください。

参照 ▶ 巻末の「リフレッシュ/リカバリーチェックシート」

メモ

- Office搭載モデルの場合、リフレッシュ後、「Office」のライセンス認証が必要になります。

参照 ▶ 「はじめに - **13** 「Office」のライセンス認証について」

- 一部のアプリケーションは、リフレッシュ後に再インストールをする必要があります。

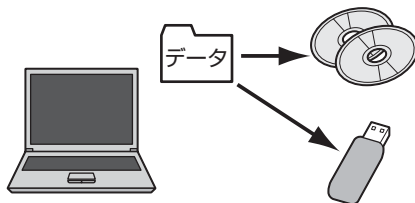
参照 ▶ 「本章 **5** プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

ここでは、Windowsが起動しない状態でのバックアップ方法について説明します。

■バックアップとは

保存したファイルやフォルダーを誤って削除してしまったり、パソコンのトラブルなどによってファイルが使いえなくなってしまうことがあります。

このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。



大切なデータは、こまめにバックアップをとってください。

参照 ▶ Windowsが起動するときのバックアップ方法『基本編 1章 6 バックアップをとる』

お願い バックアップをとるにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「付録 1 - 9 バックアップについて」

1 東芝ファイルレスキューについて

「東芝ファイルレスキュー」を使うと、Windowsが起動しなくても、データのバックアップ＝救助（レスキュー）をすることができます。

Windowsが起動せず、リカバリーをしなくてはならない場合などは、「東芝ファイルレスキュー」を使って、あらかじめデータを救助しておいてください。

お願い データを救助するにあたって

- パソコンを人に譲るときなどに、ハードディスクドライブの内容をすべて消去すると、「システム回復オプション」は消去され、「東芝ファイルレスキュー」は使用できなくなります。
- その他の注意事項については、あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「付録 1 - 10 「東芝ファイルレスキュー」について」

データの救助用に使Ⓔできる記録メディア

「東芝ファイルレスキュー」では、記録メディアにデータの救助を行います。使Ⓔできる記録メディアは、次のとおりです。

- USB接続型などの外付けハードディスクドライブ (市販品)
- USBフラッシュメモリ
- CD/DVD (本製品のドライブをⒺ用)

1 データを救助する

1 電源コードとACアダプターを接続する

2 救助するデータの保存先となる記録メディアをパソコンにセットする

USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照▶ USB対応機器の場合

『活用編 1章 3 - 2』USB対応機器の取り付け/取りはずし』

参照▶ CD/DVDの場合

『活用編 1章 6 - 2』CD/DVD/ブルーレイディスクのセット』

3 電源スイッチを押し、すぐに[0] (ゼロ) キー (かな入力の[わ] キー) を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して[ENTER]キーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」から始まるメッセージが表示された場合は、手順 4 に進んでください。

[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順 5 に進んでください。

4 「Yes」または「はい」を選択して、[ENTER]キーを押す

[オプションの選択] 画面が表示されます。

5 [トラブルシューティング] を選択する

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

6 [TOSHIBA Maintenance Utility] を選択する

ツールの選択画面が表示されます。

7 [TOSHIBA File Rescue] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする

「東芝ファイルレスキュー」が起動します。

8 「免責事項」と「使用上のご注意」を確認し、同意される場合は、[はい、同意します。] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする

同意しないと、操作を先に進めることはできません。

9 救助するデータを確認し、[次へ] ボタンをクリックする

- 何もしないで [次へ] ボタンをクリックすると、すべてのユーザーのユーザーデータを救助します。
ユーザーデータとは、[コンピューター] - ドライブ (C:) - [ユーザー] 内の各ユーザー名のフォルダーに保存されるファイルやフォルダーです。「ユーザー名」フォルダーにはアドレス帳やお気に入りなどのデータが保存されています。ユーザーデータの内容は、[救助データの一覧] で確認してください。
- 救助するファイルやフォルダーを、任意に指定したい場合は、「役立つ操作集」を参照してください。



役立つ操作集

「救助するファイルやフォルダーを任意に指定したい場合」

救助するファイルやフォルダーを任意に指定するには、次のように操作してください。

- ① 手順 **9** で、[任意のファイルやフォルダーを手動で指定する] にチェックを付け、[次へ] ボタンをクリックする
- ② 救助したいファイルやフォルダーにチェックを付け、[次へ] ボタンをクリックする以降は、手順 **10** から操作してください。

救助するデータの大きさを計算している画面が表示される場合があります。計算が完了すると、救助するデータの保存先を指定する画面が表示されます。

10 救助データの保存先を指定し、[次へ] ボタンをクリックする

外付けハードディスクドライブまたはUSB フラッシュメモリの容量が足りない場合や、記録メディアを何もセットしていない場合などは、赤い字でメッセージが表示されます。

メッセージに従って、適切な記録メディアを選択してください。

救助データの確認画面が表示されます。

11 救助するデータと保存先を確認し、[実行] ボタンをクリックする

データの救助を開始するメッセージが表示されます。

12 [はい] ボタンをクリックする

データの救助の進捗状況を示す画面が表示されます。救助には、長時間かかることがあります。必ず電源コードと AC アダプターを接続した状態でご利用ください。

救助中は保存先の記録メディアを取りはずさないでください。

データの救助が完了すると、完了画面が表示されます。

13 必要に応じて [救助結果] ボタンや [復元手順] ボタンをクリックし、最後に [完了] ボタンをクリックする

- [救助結果] ボタンをクリックすると、ファイル単位で救助の結果を表示します。このとき、ファイルが壊れているなどの理由で救助できなかったデータがあると、そのファイル名の左に赤い「×」が表示されます。
- [復元手順] ボタンをクリックすると、救助データを復元する手順を表示します。

[完了] ボタンをクリックすると、電源が切れます。


引き続き、リカバリーを行う場合は「本章 **4** パソコンを初期状態に戻す」以降を参照してください。

標準ユーザーのアカウントでデータを復元するときは管理者ユーザーの認証が必要になりますので、リカバリーをしたあとは、必ずWindowsセットアップでWindowsパスワードを設定してください。

参照 ▶ Windowsセットアップ「1章 **4** - **1** - **4** Windowsのセットアップ」

2 救助したデータを復元する

「東芝ファイルレスキュー」で救助したデータの復元方法は、次のとおりです。

- 1** パソコンの電源を入れ、Windows を起動する
このとき、データを復元したいユーザーアカウントでサインインしてください。
- 2** データを保存した記録メディアをパソコンにセットする
- 3** タスクバーの [エクスプローラー] アイコン () をクリックする
「エクスプローラー」が起動します。
- 4** 画面左側の [PC] をクリックし、記録メディアのドライブのアイコンをダブルクリックする
- 5** 「TFRescue」ファイルをダブルクリックする
標準ユーザーのアカウントで復元プログラムを実行するときは、管理者ユーザーの認証が必要です。
復元するファイルを選択する画面が表示された場合は、手順 **6** に進んでください。
[よろこ] 画面が表示された場合は、手順 **7** に進んでください。
- 6** 復元するファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックする
ファイルの名称は、「Tsal」のあとが、年号/月日/時分秒を示す数字となっています。
これは、救助を行った日時ですので、よく確認して復元したいファイルを選択してください。
[よろこ] 画面が表示されます。
- 7** 「免責事項」と「使用上のご注意」を確認し、同意される場合は、[はい、同意します。] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
同意しないと、操作を先に進めることはできません。
復元データを指定する画面が表示された場合は手順 **8** に進んでください。
復元データを確認する画面が表示された場合は手順 **9** に進んでください。
- 8** 復元したいユーザーデータを選択し、[次へ] ボタンをクリックする
復元データの確認画面が表示されます。
- 9** 復元するデータを確認し、[実行] ボタンをクリックする
メッセージが表示されます。
- 10** [はい] ボタンをクリックする
データ復元の進捗状況を示す画面が表示されます。
復元が完了すると、データ復元完了の画面が表示されます。

4 章

パソコンを再セットアップするには

11 必要に応じて【復元結果】ボタンをクリックし、最後に【完了】ボタンをクリックする

【復元結果】ボタンをクリックすると、ファイル単位で復元結果を表示します。パソコンのハードディスク内のどこに復元されたかを確認することができます。



メモ 復元データ

- 復元データと同じファイルが復元先にある場合、復元データのファイル名の先頭に「_ (アンダーバー)」が付きます。
- ユーザーデータ以外の任意のファイルやフォルダーを救助して復元した場合、次の場所に保存されます。
 - ・救助時にドライブ (C:) に保存されていたデータ：
「C:¥ユーザー¥ [ユーザー名のフォルダー] ¥C」の中
 - ・救助時にドライブ (D:) に保存されていたデータ：
「C:¥ユーザー¥ [ユーザー名のフォルダー] ¥D」の中

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。ハードディスクドライブ内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- ハードディスクドライブにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*¹
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

* 1 ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード『活用編 2章 1 - 2 ユーザーパスワード』

1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

初期状態に戻す前に行う

バックアップをとる など 参照▶「本節 2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと」

初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windows セットアップまで行います）

初期状態に戻す

参照▶「本節 3 いくつかある初期状態に戻す方法」
「本節 4 ハードディスクドライブからパソコンを初期状態に戻す」
「本節 5 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す」

Windows のセットアップ 参照▶「1章 4 - 1 - 4 Windows のセットアップ」

初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続

参照▶「3章 パソコンの使用環境を整えよう」
『活用編』
『各機器に付属の説明書』

ウイルスチェックソフトの
利用の開始

参照▶「2章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

インターネットの設定

参照▶「2章 1 インターネットを使うには」
『基本編 2章』

ウイルスチェックソフトの
パターンファイルの更新

参照▶ ウイルスチェックソフトのヘルプ

Windows Update

参照▶『基本編 2章 3 - 2 Windows を最新の状態にする』

東芝サービスステーションで
ソフトウェアのアップデート

参照▶「1章 4 - 1 - 5 「東芝サービスステーション」について」

メールの設定

参照▶「2章 1 - 3 メールを使用するために」
『基本編 2章』

アプリケーションの
インストールと設定

参照▶「アプリケーションに付属の説明書」

データの復元

参照▶「本節 6 - 1 バックアップしておいたデータを復元する」

2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『dynabookガイド（取扱説明書）』
- 巻末の「リフレッシュ／リカバリーチェックシート」をコピーしたもの
- リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、ハードディスクドライブに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD／DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

- [ドキュメント]（または [マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または [マイ ピクチャー]）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- [Internet Explorer] の [お気に入り] のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

ただし、ハードディスクドライブをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、ハードディスクドライブに保存されていたデータは復元できません。

参照 ▶ メール送受信データ、メールアドレス帳のバックアップについて
『メールソフトに付属の説明書』

参照 ▶ その他のデータのバックアップについて『基本編 1章 6 バックアップをとる』

■ システムが起動しない場合

「東芝ファイルレスキュー」を使って、データのバックアップができる場合があります。

参照 ▶ 東芝ファイルレスキュー「本章 3 - 1 東芝ファイルレスキューについて」

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（CDなど）が、お手元にあることを確認してください。

また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合は、リカバリーしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。ライセンス認証の際に必要なプロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージをご確認ください。

参照 「はじめに - 13 「Office」のライセンス認証について」

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windows サインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。

ONになっていない場合は、**FN** + **F12** キーを押して、[機内モード オフ] にしてください。

周辺機器を取りはずす

プリンター、マウスなどの周辺機器やLANケーブルは取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし「3章 パソコンの使用環境を整えよう」、
『活用編 1章 パソコンの機能を活用する』

3 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- ハードディスクドライブからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常はハードディスクドライブからリカバリーをしてください。

リカバリーメディアからのリカバリーは、ハードディスクドライブのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクドライブからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『便利編 3章 1 リカバリーメディアを作る』

4 ハードディスクドライブからパソコンを初期状態に戻す

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。



メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで **⏪** ボタンをクリックし、[PCの電源を切る] ボタンをクリックしてください。
⏪ ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

1 データを保存し、**[SHIFT]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

参照 ▶ 電源の切りかた「1章 6 - 1 電源を切る」

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 電源スイッチを押し、すぐに **[0]**（ゼロ）キー（かな入力の **[わ]** キー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」から始まるメッセージが表示された場合は、手順 **4** に進んでください。

[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順 **5** に進んでください。

4 「Yes」または「はい」を選択して、**[ENTER]** キーを押す

[オプションの選択] 画面が表示されます。

5 [トラブルシューティング] をクリックする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

6 [PCを初期状態に戻す] をクリックする

「この操作を行うと：」と表示されます。

7 [次へ] ボタンをクリックする

「PCにはドライブが複数あります。」と表示された場合は、手順 **8** に進んでください。
「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示された場合は、手順 **9** に進んでください。

8 [Windowsがインストールされているドライブのみ] をクリックする

「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示されます。

9 [ファイルの削除のみ行う] をクリックする

「すべて準備できました」と表示されます。

 **メモ**

- [ドライブを完全にクリーンアップする] を選択してもリカバリーは行えますが、5時間程度かかる場合があります。また、ハードディスクのデータはすべて消去されます。このため、通常は [ファイルの削除のみ行う] を選択することをおすすめします。

10 [初期状態に戻す] ボタンをクリックする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

11 セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照 ▶ 詳細について「1章 **4** - **1** - **4** Windowsのセットアップ」

5 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『便利編 3章 1 リカバリーメディアを作る』

メモ

- 操作を中断したい場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

1 電源コードとACアダプターを接続する

2 リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク 1」からセットしてください。
USB フラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 ▶ USBフラッシュメモリの場合

『活用編 1章 8 - 2 USB対応機器の取り付け/取りはずし』

参照 ▶ DVDの場合

『活用編 1章 6 - 2 CD/DVD/ブルーレイディスクのセット』

3 データを保存し、**[SHIFT]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

参照 ▶ 電源の切りかた「1章 6 - 1 電源を切る」

4 電源スイッチを押し、すぐに **[F12]** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。

5 **[↑]** または **[↓]** キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVDの場合はドライブを示す項目（[ODD] など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB] など）を選択し、**[ENTER]** キーを押してください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

6 **[TOSHIBA Recovery Wizard]** をチェックし、**[次へ]** ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

7 画面の内容を確認し、**[はい]** ボタンをクリックする

4章

パソコンを再セットアップするには

8 [初期インストールソフトウェアの復元] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

[ハードディスク上の全データの消去] は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクドライブのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスクドライブ上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 ▶ 「5章 3 - 2 ハードディスクドライブの内容をすべて消去する」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

9 [次へ] ボタンをクリックする

処理が開始され、[パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。] 画面が表示されます。

画面は、リカバリーの経過に従い切り替わります。

長い時間、同じ画面が表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、[OK] ボタンをクリックしてください。

処理が完了すると、終了画面が表示されます。

10 リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■ DVDの場合

- ① [終了] ボタンをクリックする
自動的にリカバリーメディアを取り出せる状態になります。
- ② リカバリーメディアを取り出す

■ USBフラッシュメモリの場合

- ① USBフラッシュメモリを取りはずす
- ② [終了] ボタンをクリックする

再び画面が切り替わります。

セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

また、この間は絶対に電源を切らないでください。

11 セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照 ▶ 詳細について「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

6 パソコンを初期状態に戻したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定や更新を行ってください。

インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で控えておいた設定情報を元に、行ってください。

その他必要に応じて、メールの再設定、購入後に追加したアプリケーションのインストール、データの復元などを行ってください。

参照 ▶ 詳細について「本章 4 - 1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ」

メモ

- Office搭載モデルの場合、リカバリー後、「Office」のライセンス認証が必要になります。

参照 ▶ 「はじめに - 13 「Office」のライセンス認証について」

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

参照 ▶ 「本章 5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

1 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

■【ドキュメント】、【お気に入り】のデータや、その他のファイルやフォルダーなどバックアップをとったデータを復元してください。

参照 ▶ メール送受信データ、メールアドレス帳の復元について『メールソフトに付属の説明書』

参照 ▶ その他のデータの復元について

『基本編 1章 6 - 1 ファイルやフォルダーのバックアップをとる』

「東芝ファイルレスキュー」など、アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。詳しくは、アプリケーションのヘルプを参照してください。

参照 ▶ 東芝ファイルレスキューでのデータの復元「本章 3 - 1 - 2 救助したデータを復元する」

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。

アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

参照 ▶ アプリケーションの削除【便利編 7章 2 アプリケーションの削除】

1 操作手順

1 スタート画面で、ポインターを動かす

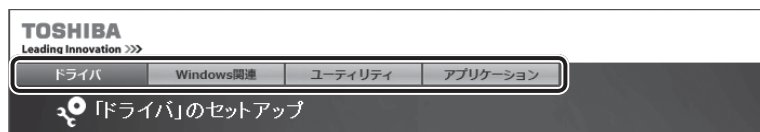
2 画面左下の  をクリックする

3 [ アプリケーションの再インストール] をクリックする

4 [セットアップ画面へ] をクリックする

アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。

5 タブをクリックして、再インストールしたいアプリケーションを探す



(表示例)

画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。アプリケーションをクリックすると、画面右側に説明が表示されますので、よくお読みください。

6 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の [[XXX] のセットアップ] をクリックする

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。

選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の、下線が引かれている言葉をクリックしてください。

7 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

「XXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」または「このファイルを実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、[実行] ボタンをクリックしてください。

メモ

- [アプリケーションの再インストール] にはないアプリケーションは、Windowsストアからダウンロードできる場合があります。
-

5章

困ったときは

パソコンの操作をされていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

また、パソコン本体を捨てるときや人に譲るときに知っておいて欲しいことを説明しています。

- 1 トラブルを解消するまでの流れ..... 116
- 2 Q&A集..... 118
- 3 捨てるとき／人に譲るとき..... 134
- 4 お問い合わせ先 - OS／アプリケーション - 138



1

トラブルを解消するまでの流れ

トラブルが発生したときの解決手順を紹介します。

STEP1 本書の「Q&A集」から探す





本書の「Q&A集」では、パソコンの電源が入らないなどのトラブルについて解決方法を説明しています。同じトラブルのQ&Aがないか、確認してみてください。

参照▶ 「本章 **2** Q&A集」

STEP2 『困ったときは』から探す

『パソコンで見るマニュアル』の『困ったときは』でも、トラブルが発生した場合の解決方法を説明しています。本書の「Q&A集」では紹介していない、さまざまなQ&Aについても説明しています。確認してみてください。

STEP3 『困ったときは』以外から探す

- 『パソコンで見るマニュアル』を検索してみる
トラブルの解決方法を『困ったときは』から探せないときは『パソコンで見るマニュアル』をキーワード検索してみるのも一つの方法です。
 - 『パソコンで見るマニュアル』の検索方法
関係ありそうな編を起動し、 をクリックしてください。検索ウィンドウが表示されます。
参照▶ 検索方法の詳細について「1章 **7** - **2** - パソコンで見るマニュアル」
- 「おたすけナビ」で探してみる
「おたすけナビ」を使うと、本製品に用意されているアプリケーションの中から、目的にあったアプリケーションを探し出すことができます。また、アプリケーションのヘルプやマニュアルを表示することもできます。
「おたすけナビ」の詳細は、「おたすけナビ」のヘルプをご覧ください。
 - 「おたすけナビ」の起動方法
 - ① スタート画面で、ポインターを動かす
 - ② 画面左下の をクリックする
 - ③ [ 東芝おたすけナビ] をクリックする
 - 「おたすけナビ」のヘルプの起動方法
「おたすけナビ」画面で をクリックします。
参照▶ 「1章 **7** - **2** - おたすけナビ」

STEP4 サポートのサイトで調べる

インターネットに接続している場合は、次のサポートサイトをご覧ください。

● **「あなたのdynabook.com」**

本製品独自のサポートサイト「あなたのdynabook.com」には、ご利用のパソコンの「よくある質問 FAQ」、デバイスドライバーや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などが掲載されています。ご利用のパソコンに関する情報だけが表示されるので、目的の情報を簡単に探すことができます。また、サポート窓口や修理についても案内しています。

● **「dynabook.com」**

東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」では、お問い合わせの多い質問や最新のQ&Aが掲載されています。

サポートサイトの説明を読んでもトラブルが解決しない場合は、お問い合わせ専用フォームから質問メールを出すこともできます。

STEP5 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる● **パソコン本体のトラブルの場合**

東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。

参照▶ 東芝PCあんしんサポートについて「本章 **4** お問い合わせ先」

● **OSやアプリケーションのトラブルの場合**

本製品に用意されているOS、アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ OSやアプリケーションのお問い合わせ先「本章 **4** お問い合わせ先」

● **周辺機器のトラブルの場合**

各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『困ったときは』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、『困ったときは』も参照してください。

1 電源を入れるとき／切るとき 120

- Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない..... 120
- Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう
電源が入らない..... 120
- Q 電源を入れたが、システムが起動しない..... 121
- Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある 121
- Q しばらく操作しないとき、電源が切れる..... 121

2 画面／表示 122

- Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった..... 122
- Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった..... 122
- Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、
パソコンをスリープや休止状態から復帰したとき、
本体液晶ディスプレイに何も表示されない..... 123
- Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、
画面が表示されなくなった..... 123
- Q 画面が薄暗く、よく見えない..... 123

3 システム／ハードディスク 124

- Q パソコンが応答しなくなった..... 124
- Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない 125

4 タッチパネル 125

- Q 画面にタッチしても反応しない..... 125
- Q ダブルタップがうまくいかないなので、速度を変更したい 126

5 キーボード 126

- Q ポインターが輪の形をしている間にキーを押しても反応がない..... 126
- Q キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでしまう 126
- Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった..... 126

6 タッチ패드/マウス 127

- Q Bluetoothマウス（ケーブル無しマウス）の
バッテリーLEDが赤色に点滅した 127
- Q Bluetoothマウスが反応しない 127
- Q Bluetoothマウスの反応がおかしい 128
- Q タッチ패드やマウスをクリックしても反応がない 129
- Q ダブルクリックがうまくいかないの、速度を変更したい 129
- Q ポインターの速度を調節したい 129

7 メッセージ 130

- Q 「Enter Password」と表示された 130
- Q 「Enter HDD/SSD Password」などと表示された 130
- Q 「Enter Supervisor Password or hit F11 key to proceed
F11 key limits functions」と表示された 130
- Q 起動時に「*** RTC battery is low ***
Press ENTER to set Date/Time」と表示され、
Windowsが起動しない 130
- Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された 131
- Q 次のようなメッセージが表示された 131
- Q その他のメッセージが表示された 131

8 その他 132

- Q ハードディスクからパソコンを初期状態に戻せなくなったときは 132
- Q 異常なおいや過熱に気づいた！ 132
- Q 操作できない原因がどうしてもわからない 133

 **役立つ操作集**

『困ったときは』のQ&Aを見よう

本書のQ&A集を見ても知りたいことが見つからない場合は、『困ったときは』のQ&Aを見てみましょう。
インターネットに接続しなくても閲覧できるため、操作も簡単です。

- ①『パソコンで見るマニュアル』の「困ったときは」をクリックする
- ②しおりから知りたい項目をクリックする
「2章 Q&A集」をご覧ください。

1 電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない

- A**▶ 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。
確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう
電源が入らない

- A**▶ バッテリーの充電量が少ない可能性があります。
本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

- A**▶ パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。

また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

- A**▶ パソコン本体からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを取りはずす

パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。

電源コードとACアダプターを取りはずして、そのままの状態、しばらく放置してください。

- ② 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

- ③ 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

参照▶ 電源コードとACアダプターの接続

「1章 4 - 1 - 2 電源コードとACアダプターを接続する」

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A▶ 起動ドライブをハードディスクドライブ以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

システムが入っている記録メディアと取り換えるか、またはドライブから記録メディアを取り出してから、何かキーを押してください。

それでも正常に起動しない場合は、次のように操作してください。

- ① 電源スイッチを5秒以上押しして電源を切る
- ② 電源スイッチを押し、すぐに **[F12]** キーを数回押す
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **[ENTER]** キーを押してください。
- ③ 表示されたメニューからシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクを示す項目）を **[↑]** **[↓]** キーで選択し、**[ENTER]** キーを押す

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A▶ パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。

また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A▶ バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。

(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A▶ Power LEDが白色に点灯している場合、省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

[SHIFT] キーを押すか、タッチパッドを操作すると表示が復帰します。





テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A▶ Power LEDが白色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。

復帰させるには、電源スイッチを押してください。

また、次の手順で設定を解除できます。

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [Windowsシステムツール] の [ コントロールパネル] をクリックする
- ④ [ システムとセキュリティ] → [ 電源オプション] をクリックする
- ⑤ 利用する電源プランを選択し、[プラン設定の変更] をクリックする
- ⑥ [ディスプレイの電源を切る] および [コンピューターをスリープ状態にする] で [適用しない] を選択する
[バッテリー駆動] と [電源に接続] にそれぞれ設定してください。
- ⑦ [変更の保存] ボタンをクリックする

2 画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A▶ 電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。
システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A▶ 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 **3** - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A▶ 省電力機能が働いた可能性があります。
しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
[SHIFT] キーを押すか、タッチパッドを操作すると表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、パソコンをスリープや休止状態から復帰したとき、本体液晶ディスプレイに何も表示されない

A▶ テレビまたは外部ディスプレイに、画面表示が切り替わっている可能性があります。

テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れて確認してください。パソコン画面が表示されていた場合は、『活用編 1章 2-2 パソコンの画面をテレビや外部ディスプレイに映す』を参照して、本体液晶ディスプレイに表示を切り替えてください。

Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、画面が表示されなくなった

A▶ テレビまたは外部ディスプレイを接続してください。

テレビまたは外部ディスプレイをメインディスプレイに指定して拡張表示の設定をした場合、スリープや休止状態のときにテレビまたは外部ディスプレイを取りはずすと、スリープや休止状態から復帰したときに画面が表示されないことがあります。

テレビまたは外部ディスプレイの取りはずしは、スリープや休止状態のときに行わないでください。

Q 画面が薄暗く、よく見えない

A▶ **FN** + **F3** キーを押して、本体液晶ディスプレイ（画面）を明るくしてください*¹。
FN + **F2** キーを押すと、逆に、本体液晶ディスプレイは暗くなります。





* 1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

A▶ 本体液晶ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。

「電源オプション」には、本体液晶ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。

詳しくは、「電源オプション」のヘルプを参照してください。

次の手順で設定を変更してください。*¹

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [Windows システムツール] の [ コントロールパネル] をクリックする
- ④ [ システムとセキュリティ] → [ 電源オプション] をクリックする
- ⑤ 利用する電源プランを選択し、[プラン設定の変更] をクリックする
- ⑥ [プランの明るさを調整] を設定する
[バッテリー駆動] と [電源に接続] をそれぞれ設定してください。
- ⑦ [変更の保存] ボタンをクリックする

* 1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。


3 システム／ハードディスク

Q パソコンが応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動してください。

参照 ▶ 再起動「1章 6 - 1 - 再起動」

タッチ패드やマウスで操作できない場合は、次の手順でキーボードを操作して再起動してください。

- ① **CTRL** + **ALT** + **DEL** キーを押す
- ② **TAB** キーを数回押して画面右下の [シャットダウン] () を選択し、**ENTER** キーを押す
- ③ 表示されたメニューから、**↑** キーを押して [再起動] を選択し、**ENTER** キーを押す再起動します。

A Windows 起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 電源スイッチを5秒以上押しても強制終了できない場合は、シャットダウンホールを押して強制終了し、電源スイッチを押してWindowsを再起動してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

参照 ▶ シャットダウンホール「1章 2 - 3 裏面図」

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A▶ アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照▶ アンインストール『便利編 7章 2 アプリケーションの削除』

A▶ 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。


周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照▶ 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

4 タッチパネル

Q 画面にタッチしても反応しない

A▶ システムが処理中の可能性があります。

ポインターが輪の形（）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A▶ 画面に異物が付着している可能性があります。

保護フィルムを貼っている場合は、フィルムをはがしてください。

A▶ つめの先では操作できません。

指で操作してください。

A▶ 手袋を着けたままでは操作できません。





手袋をはずして操作してください。

A▶ 指が汗や水でぬれている状態では操作できません。

水分をふき取ってから操作してください。

Q ダブルタップがうまくいかないのに、速度を変更したい

A 次の手順で、ダブルタップの速度を調節してください。


- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [Windowsシステムツール] の [ コントロールパネル] をクリックする
- ④ [ ハードウェアとサウンド] → [ タッチ入力設定の変更] をクリックする
[ペンとタッチ] 画面が表示されます。
- ⑤ [ダブルタップ] を選択し、[設定] ボタンをクリックする
[ダブルタップの設定] 画面が表示されます。
- ⑥ [スピード] のスライダーバーを左右にドラッグする
- ⑦ [OK] ボタンをクリックする
- ⑧ [OK] ボタンをクリックする

5章

5 キーボード

Q ポインターが輪の形をしている間にキーを押しても反応がない

A システムが処理中の可能性があります。

ポインターが輪の形 () をしている間は、システムが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでしまう

A 文字を入力しているときに誤ってタッチパッドに触れると、カーソルがとんだり、アクティブウィンドウが切り替わってしまうことがあります。

FN + **F5** キーを押してタッチパッドを無効に切り替えてください。

Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

A 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。

もし、液体がパソコン内部に入ったときは、ただちに電源を切り、電源コードとACアダプターを取りはずして、東芝PCあんしんサポートにご相談ください。

6 タッチパッド／マウス

* マウスは、モデルによって別売りです。

Q Bluetoothマウス（ケーブル無しマウス）の バッテリーLEDが赤色に点滅した

* Bluetoothマウス付属モデルのみ

A Bluetoothマウスの電池の残量が少なくなっています。
乾電池を交換してください。

参照 ▶ 「3章 2 - 1」 Bluetoothマウスの準備

Q Bluetoothマウスが反応しない

* Bluetoothマウス付属モデルのみ

次の各 **A** の詳細は、「3章 2 - 1」 Bluetoothマウスの準備」を参照してください。

A Bluetoothマウスの電源が入っていない可能性があります。
Bluetoothマウス裏面の電源スイッチをON側にしてください。

A BluetoothマウスのバッテリーLEDが赤色に点滅している場合は、電池の残量が少なくなっています。
Bluetoothマウスの乾電池を交換してください。

A パソコン本体の機内モードがオンに設定されている可能性があります。
パソコン本体の機内モードをオフに設定してください。

A パソコン本体のBluetooth機能がOFFになっている可能性があります。
パソコン本体のBluetooth機能をONにしてください。

A Bluetoothマウスがパソコン本体と正しく接続されていない可能性があります。
初めてBluetoothマウスを使用する場合は、パソコンとBluetooth通信で接続させるための設定が必要です。
設定を行っても、Bluetooth通信が切れて、Bluetoothマウスが反応しなくなる場合があります。Bluetoothマウス裏面の電源スイッチをいったんOFF側にし、再度ON側にしてください。それでもBluetoothマウスが反応しない場合は、設定をやり直してください。





A Bluetoothマウスをパソコン本体に近づけて使用してください。

金属がBluetoothマウスとパソコン本体の間にあったり、机がスチールデスクだったりすると、Bluetoothマウスの感度が著しく低下する場合があります。

A 省電力モードに設定されている可能性があります。

省電力モードに設定されていると、マウスが数分で動作しなくなる場合があります。次の手順で設定を解除できます。

ただし、設定を解除すると、設定している場合に比べて、マウスに使用している乾電池の消耗が早くなります。

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [Windowsシステムツール] の [ コントロールパネル] をクリックする
- ④ [ ハードウェアとサウンド] → [ デバイスマネージャー] をクリックする
- ⑤ [Bluetooth] をダブルクリックする
- ⑥ Bluetoothのアダプターデバイスをダブルクリックして、プロパティ画面の [電源の管理] タブを表示する
[Bluetooth] の下にいくつかの項目が表示されている場合は、各項目をダブルクリックし、プロパティ画面に [電源の管理] タブが表示されたものについて、次の手順に進んでください。
- ⑦ [電源の管理] タブで、[電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする] のチェックをはずす
- ⑧ [OK] ボタンをクリックする

Q Bluetoothマウスの反応がおかしい

* Bluetoothマウス付属モデルのみ

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、研磨した金属、ラミネート、光沢紙、プラスチックなど）
- 画像パターンの変化が非常に少ない表面（人工大理石、新品のオフィスデスクなど）
- 画像パターンの方向性が強い表面（正目の木材、立体映像の入ったマウスパッドなど）

明るめの色のマウスパッドや紙など、光の反射を認識しやすい素材を使ったものの上で使用してください。

付属のBluetoothマウスは光学式です。

光学式マウスに対応したマウスパッドの使用を推奨します。


光学式マウスに対応していないものやマウスパッドの模様によっては、正常に動作しない場合があります。

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。

マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

Q タッチパッドやマウスをクリックしても反応がない

A システムが処理中の可能性があります。





ポインターが輪の形 () をしている間は、システムが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A タッチパッドのみ操作を受け付けられない場合、タッチパッドが無効に設定されている可能性があります。

FN + **F5** キーを押してタッチパッドを有効に切り替えてください。





Q ダブルクリックがうまくいかないので、速度を変更したい

A 次の手順で、ダブルクリックの速度を調節してください。

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [Windows システムツール] の [ コントロールパネル] をクリックする
- ④ [ ハードウェアとサウンド] → [ マウス] をクリックする
[マウスのプロパティ] 画面が表示されます。
- ⑤ [ボタン] タブで [ダブルクリックの速さ] または [ダブルクリックの速度] のスライダーバーを左右にドラッグする
- ⑥ [OK] ボタンをクリックする

Q ポインターの速度を調節したい

A 次の手順でポインターの速度を変更してください。

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [Windows システムツール] の [ コントロールパネル] をクリックする
- ④ [ ハードウェアとサウンド] → [ マウス] をクリックする
[マウスのプロパティ] 画面が表示されます。
- ⑤ [ポインター オプション] タブで [速度] のスライダーバーを左右にドラッグする
- ⑥ [OK] ボタンをクリックする

7 メッセージ

Q 「Enter Password」と表示された

A▶ 「東芝パスワードユーティリティ」またはBIOSセットアップで設定したパスワードを入力し、**ENTER** キーを押してください。

パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「Enter HDD/SSD Password」などと表示された

A▶ BIOSセットアップで設定したHDDパスワードを入力し、**ENTER** キーを押してください。

HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクは永久に使用できなくなり、交換対応となります。東芝PCあんしんサポートに連絡してください。交換対応は有料です。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「Enter Supervisor Password or hit F11 key to proceed F11 key limits functions」と表示された

A▶ 「東芝パスワードユーティリティ」またはBIOSセットアップで設定したスーパーバイザーパスワード（Supervisor password）を入力し、**ENTER** キーを押してください。

パスワードを入力する代わりに**F11**キーを押した場合は、BIOSセットアップでの一部の機能の変更が制限される場合があります。

パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 起動時に「*** RTC battery is low *** Press ENTER to set Date/Time」と表示され、Windowsが起動しない

A▶ 時計用電池がなくなりました。

時計用電池を交換する必要があります。
東芝PCあんしんサポートに相談してください。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A➔ 日付と時刻を設定してください。

Windows Update やアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照➔ 日付と時刻の設定について『困ったときは 2 章 1 - 3 - Q 内蔵時計が合っていない』

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing Press any key to restart」

A➔ CD/DVD や、USB フラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A➔ 『使用しているシステムやアプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

8 その他

Q ハードディスクからパソコンを初期状態に戻せなくなったときは

A▶ ハードディスクドライブに搭載されている初期状態に戻すためのツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。

また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、パソコンを初期状態に戻せなくなることがあります。

「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照▶ リカバリーの操作方法

「4章 4 - 5」リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて「dynabook.com」

Q 異常なおいや過熱に気づいた！

A▶ パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認し、東芝PCあんしんサポートに相談してください。

なお、お問い合わせの際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照▶ 修理のお問い合わせについて「dynabook.com」

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A▶ 「トラブルを解消するまでの流れ」を確認してください。

本書の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照▶ 「本章 **1** トラブルを解消するまでの流れ」

.....

A▶ パソコン本体のトラブルの場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

.....

A▶ OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ OSやアプリケーションのお問い合わせ先「本章 **4** お問い合わせ先」

.....

A▶ 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、ハードディスクドライブの内容を消去してください。

1 お客様登録の削除について

● ホームページから削除する

東芝ID (TID) をお持ちの場合はこちらからお願いします。

- ① インターネットで「<http://toshibadirect.jp/room1048/>」へ接続する
- ② ページ右の [ログイン] をクリックする
[ログイン] 画面が表示されます。
- ③ [東芝ID (TID)] と [パスワード] に入力し、[ログイン] ボタンをクリックする
マイページが表示されます。
- ④ ページ右下の [退会] をクリックする

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※ Room1048を退会されると、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● 電話で削除する

「東芝ID事務局 (お客様情報変更)」までご連絡ください。

● 東芝ID事務局 (お客様情報変更)

TEL : 0570-09-1048 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00～17:00 (土・日、祝日、東芝特別休日を除く)

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。

技術的なご相談や修理に関するお問い合わせは、「dynabook.com」を確認してください。

またリサイクルに関しては、『[dynabookガイド \(取扱説明書\)](#)』や「dynabook.com」を参照してください。

2 ハードディスクドライブの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、ハードディスクドライブに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

ハードディスクドライブの内容を削除するには、ハードディスクドライブの消去機能、または作成したリカバリーメディアを使用します。

お願い パソコンを譲渡する場合には

ハードディスクドライブの内容を削除すると、ハードディスクドライブ内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム（OS）やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成『便利編 3章 1 リカバリーメディアを作る』

■ ハードディスクドライブの消去機能から行う方法

1 データを保存し、**[SHIFT]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 6 - 1 電源を切る」

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 電源スイッチを押し、すぐに**[0]**（ゼロ）キー（かな入力の**[わ]**キー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して**[ENTER]**キーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」から始まるメッセージが表示された場合は、手順**4**に進んでください。

「オプションの選択」画面が表示された場合は、手順**5**に進んでください。

4 「Yes」または「はい」を選択して、**[ENTER]**キーを押す

「オプションの選択」画面が表示されます。

5 「トラブルシューティング」をクリックする

「トラブルシューティング」画面が表示されます。

6 [TOSHIBA Maintenance Utility] をクリックする

ツールの選択画面が表示されます。

7 [ハードディスク上の全データの消去] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順 **8** に進んでください。

[データの消去を開始します。] 画面が表示された場合は、手順 **9** に進んでください。

8 目的に合わせて、[標準データの消去] または [機密データの消去] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

通常は [標準データの消去] を選択してください。データを読み取れなくなります。

より確実にデータを消去するためには、[機密データの消去] を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。

[データの消去を開始します。] 画面が表示されます。

処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

9 [次へ] ボタンをクリックする

消去が実行されます。

画面は、処理の経過に従い切り替わります。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

10 [終了] ボタンをクリックする

■ リカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『便利編 3章 **1** リカバリーメディアを作る』

1 電源コードとACアダプターを接続する

2 リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 ▶ USBフラッシュメモリの場合

『活用編 1章 **8** - **2** USB対応機器の取り付け／取りはずし』

参照 ▶ DVDの場合『活用編 1章 **6** - **2** CD/DVD/ブルーレイディスクのセット』

3 データを保存し、**[SHIFT]** キーを押しながら **[シャットダウン]** をクリックして電源を切る

参照 ▶ 電源の切りかた『1章 **6** - **1** 電源を切る』

4 電源スイッチを押し、すぐに **F12** キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して **ENTER** キーを押してください。

5 **↑** または **↓** キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVDの場合はドライブを示す項目（[ODD] など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB] など）を選択し、**ENTER** キーを押してください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

6 [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

7 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

以降は、「本節 **2** -ハードディスクドライブの消去機能から行う方法」の手順 **7** 以降を参照してください。

4

お問い合わせ先

－ OS / アプリケーション －

本製品に用意されているOS、アプリケーションのお問い合わせ先を紹介しています。
各アプリケーションを使っていて困ったときは、こちらに連絡してください。

* 2014年3月現在の内容です。

各社の事情で、受付時間などに変更になる場合があります。

1 OSのお問い合わせ先

Windows 8.1に関する一般的なお問い合わせ先は、東芝PCあんしんサポートになります。

Windows 8.1に関する一般的なサポート情報は、以下のホームページでもご確認いただくことができます。

<http://support.microsoft.com>

5章

困ったときは

2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザー登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。

用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

Excel 2013/OneNote 2013/Outlook 2013/PowerPoint 2013/Word 2013/ 楽しもうフォトウィザード

日本マイクロソフト株式会社 サポート受付窓口

●基本操作に関するお問い合わせ

<メール サポート>

以下の Web サイトにアクセスし、ご質問または問題に関連する製品を選択してください。

ホームページ : <http://support.microsoft.com/oas/>

受付時間 : 24 時間いつでも受け付けています。

<電話サポート>

フリーダイヤル : 0120-54-2244

※ 下記番号へのお問い合わせの場合は通信費はお客様負担

東京 03-4332-5458 大阪 06-6530-4231

※ ご利用の際は、電話番号をお間違えないようご注意ください。

※ 音声ガイダンスが流れますので、ガイダンスに従って番号のご選択をお願いいたします。

受付時間 : 月曜日～金曜日 : 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 19:00

土曜日 : 10:00 ~ 17:00

(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除きます。日本マイクロソフト株式会社指定休業日以外で日曜日が祝日である場合には、日曜日は上記土曜日と同様の受付を行い、翌日の振替休業日が休業となります。)

● サポート有効期間 : お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して 90 日間 (※)
※ サポート ライフサイクル期間内

● ホームページ : <http://support.microsoft.com/select/>

お問い合わせに関する詳細は、本体に同梱されている冊子『Office お使いになる前に』をご覧ください。

ウイルスバスター クラウド™ 90日版

ウイルスバスターサービスセンター

受付時間 : 9:30~17:30

TEL : 0570-008326
03-6738-6062 (IP 電話・光電話からのお問い合わせ)

E-mail : <http://tmqa.jp/r924/>

ホームページ : <http://tmqa.jp/toshiba/>

マカフィー サイトアドバイザー ライブ (30 日期間限定版)

マカフィー・テクニカルサポートセンター

(サイトアドバイザー ライブに関する技術的な問い合わせ)

受付時間 : 9:00~21:00 (年中無休)
TEL : 0570-060-033 (ナビダイヤル)
03-5428-2279 (ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)
E-mail : 以下のWeb フォームをご利用ください。
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_inquiry_ts.asp
ホームページ : <http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

(ユーザー登録や登録情報変更などの製品以外に関する問い合わせ)

受付時間 : 月曜~金曜 : 9:00~17:00 (年末年始、祝日を除く)
TEL : 0570-030-088 (ナビダイヤル)
03-5428-1792 (ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)
E-mail : 以下のWeb フォームをご利用ください。
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_inquiry_coc.asp
ホームページ : <http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

マカフィー・インフォメーションセンター

(製品購入前の製品に関する問い合わせ)

受付時間 : 月曜~金曜 : 9:00~17:00 (年末年始、祝日を除く)
TEL : 0570-010-220 (ナビダイヤル)
03-5428-1899 (ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)
E-mail : 以下のWeb フォームをご利用ください。
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/msup/information_center.asp
ホームページ : <http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/>

マカフィー・テクニカルサポートセンターではチャットによるサポートもご提供しています。

チャット : <http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp>

Adobe Photoshop Elements 12

* Adobe Photoshop Elements 12 付属モデルのみ

● サポートについて

Application Disc内の次のファイルをお読みください。

¥ReadMe¥Adobe Photoshop Elements 12 お読みください.html

ATOK 2013 for Windows (60日間無償試用版) for TOSHIBA

● 無償試用版の使い方に関するお問い合わせ

ジャストシステム 期間限定版専用サポート

受付時間 : 平日 10:00~17:00 (土・日・祝、特別休業日を除く)

TEL : 088-666-1523

ホームページ : <http://support.justsystems.com/>

Corel PaintShop Pro for TOSHIBA**コーレルサポートセンター**

メールでのお問い合わせは、サポートホームページに掲載されているメールフォームからご利用いただけます。

90日間の無償電話サポートとなります。

最新バージョンより2バージョン前までのサポートとなります。

受付時間 : 10:00~12:00、13:30~17:30
月~金曜日 (祝日、及び、コーレル社指定休業日は除く)

TEL : 0570-003-002

ホームページ : <http://www.corel.jp/support/>

Corel VideoStudio**コーレル株式会社 インタービデオ テクニカルサポート**

お問い合わせの前にホームページ (<http://www.corel.jp/support/>) をご確認ください。

当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

受付時間 : 月~金 10:00~12:00、13:30~17:30
(12:00~13:30、土日祝祭日、ならびに指定休業日を除く)

TEL : 03-3544-8179

E-mail : メールでのお問い合わせは、以下のURLに掲載されている専用のメールフォームをご利用ください。

<http://www.corel.jp/support/>

ホームページ : <http://www.corel.jp/>

CyberLink MediaShow 6 for TOSHIBA

サイバーリンクカスタマーサポート

受付時間 : 10:00-13:00、14:00-17:00 (土日祝日、休業日を除く)
TEL : 0570-080-110 (ナビダイヤル)
03-5205-7670
(PHS、一部電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合)
ホームページ : <http://support.cyberlink.jp/>
(ウェブフォームからのお問い合わせは、ユーザー登録が必要です。)

DigiBook Browser for TOSHIBA

デジブック☆オンライン

受付時間 : 10:00~17:00 (土日祝日除く)
TEL : 03-6805-9240
FAX : 03-5468-1250
E-mail : info@digibook.net
ホームページ : <http://www.digibook.net/>

ebi.BookReader4

株式会社 イーブック イニシアティブ ジャパン eBookJapan サポートセンター

<http://www.ebookjapan.jp/ebj/support/index.asp?dealerid=107>

受付時間 : 10:00~18:00 (土日祝日除く)
E-mail : support@ebookjapan.co.jp
ホームページ : <http://www.ebookjapan.jp/ebj/?dealerid=107>

i-フィルター6.0 (90日版)

デジタルアーツ株式会社 サポートセンター

受付時間 : 10:00~18:00
(デジタルアーツ指定休業日を除く)
TEL : 0570-00-1334
E-mail : p-support@daj.co.jp
ホームページ : 【よくある質問】 <http://www.daj.jp/cs/support/pc/if6/>
【お問い合わせフォーム】 <http://www.daj.jp/ask/>

LoiLoScope2 30日体験版**株式会社 LoiLo****● LoiLoScopeに関するお問い合わせ**

お問い合わせの前にFAQ (<http://support.loilo.tv/loiloscope/jp>) をご確認ください。

受付時間 : 平日9:00~18:00 (土日祝、特別休業日を除く)

Webからのお問い合わせ

: <http://loilo.tv/jp/product/22>

内容により回答に日数を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Roxio Creator LJ**コーレル・ロキシオサポートセンター**

お問い合わせの前にホームページ (<http://www.roxio.jp/support/>) をご確認ください。

電話やWebサポートをご希望の場合、ユーザー登録が必要です。

受付時間 : 10:00~12:00、13:30~17:30
(土・日・祝日・コーレル株式会社が定めた休日を除く)

TEL : 0570-001-002

RZ タグラー**RD シリーズサポートダイヤル**

受付時間 : 365日 9:00~18:00

ナビダイヤル : 0570-00-0233 (通話料有料)
(PHS・一部のIP電話などでは、ご利用になれない場合があります。)

ホームページ : <http://apps.toshiba.co.jp/>

メールでのお問い合わせ

: <https://www.digitaldoors.jp/dvd/form.php>

デジタル全国地図 いつも NAVI (90日版)**ゼンリンデータコム お客様相談室**

受付時間 : 10:00~17:00 月~金 (祝日・指定休日は除く)

E-mail : itsmo_navi@zenrin-datacom.net

ホームページ : <http://www.zmap.net/contactus/index.html>

筆ぐるめ for TOSHIBA

筆ぐるめ インフォメーションセンター

受付時間 : 9:30~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝祭日・休業日を除く)
11月1日から12月30日までは無休
(受付時間9:30~17:00 12/30のみ12:00まで)

TEL : 0570-550-211 (ナビダイヤル)
03-5638-6139 (PHS、IP電話ご使用の場合)

E-mail : users@fsi.co.jp

ホームページ : <http://fudegurume.jp/>

その他のアプリケーション

※本製品を購入後に追加したアプリケーションに関しては、製造元各社へお問い合わせください。

東芝 (東芝PCあんしんサポート)

全国共通電話番号 : 0120-97-1048 (通話料・電話サポート料無料)
おかけいただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。
技術的な質問、お問い合わせは、ガイダンスの後に **1** をプッシュしてください。

技術相談窓口 受付時間 : 9:00~19:00 (年中無休)

[電話番号はお間違えのないよう、ご確認のうえおかけください]

海外からの電話、携帯電話、PHS、一部のIP電話および直回収線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780 (通話料お客様負担) にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、サポートサイト (http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm) にてお知らせいたします。

お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、(株)東芝の個人情報保護方針のページ (http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm) をご覧ください。

付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

- 1 ご使用にあたってのお願い 146
- 2 技術基準適合について..... 152
- 3 無線LAN/Bluetoothについて 153



本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

1 パソコン本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- パソコンの表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

タッチパッドの操作にあたって

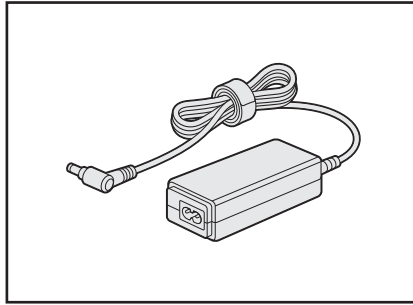
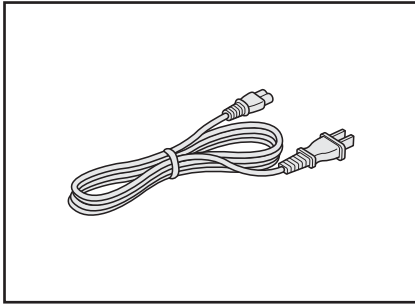
- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。

画面のタッチ操作にあたって

- 画面をタッチするときは、強く押さないでください。
- 画面は指で操作してください。先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。画面を傷つけるおそれがあります。
- 画面に保護フィルムを貼らないでください。保護フィルムを貼ると、タッチ操作が正しく行われぬおそれがあります。

2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。



電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより異なります。

3 有線LANについて

LANケーブルの使用にあたって

- LANケーブルは市販のものを使用してください。
- LANケーブルをパソコン本体のLANコネクタに接続した状態で、LANケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。LANコネクタが破損するおそれがあります。
- LANインターフェースを使用するとき、Gigabit Ethernet（1000BASE-T）は、エンハンスドカテゴリ5（CAT5e）以上のケーブルを使用してください。
Fast Ethernet（100BASE-TX）は、カテゴリ5（CAT5）以上のケーブルを使用してください。
Ethernet（10BASE-T）は、カテゴリ3（CAT3）以上のケーブルが使用できます。

4 無線LANについて

無線LANを使用するにあたって

- 無線LANの無線アンテナは、障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信の範囲を最大限有効にするには、本や厚い紙の束などの障害物でディスプレイを覆わないようにしてください。
また、無線LANアクセスポイントとパソコンとの間を金属板などで遮へいしたり、無線アンテナの周囲を金属製のケースなどで覆わないようにしてください。
- 無線LANは無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、「付録 3 無線LAN／Bluetoothについて」、『基本編 付録 2 無線LAN／Bluetoothについて』を確認してください。
- 本製品の無線LANを使用できる国／地域については、「dynabook.com」を確認してください。

無線LANの操作にあたって

- Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。
- アドホックネットワーク機能で、設定されているネットワーク名へのネットワーク接続が不可能になる場合があります。
この場合、再度ネットワーク接続を可能にするには、同じネットワーク名で接続されていたコンピューターすべてに対して、新たに別のネットワーク名で設定を行う必要があります。

5 ウイルスチェック・セキュリティ対策について

使用するにあたって

- 本製品に用意されている「ウイルスバスター」は90日間の使用期限があります。必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをご使用になる場合には、必ずウイルス定義ファイルの最新版を使用してください。
ウイルス感染を防止するには、常に最新のウイルス定義ファイルが必要です。
- すでにインストールしてあるウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトとは別のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールする場合は、すでにインストールしているものをすべてアンインストールしてから行ってください。

参照 ウイルスバスターのセキュリティ機能について「ウイルスバスター」のヘルプ

6 「i-フィルター6.0」について

使用期限について

- 無料使用期間はご使用開始より90日間です。無料使用期間が過ぎますと、設定がすべて解除されフィルタリング機能がご使用できなくなります。無料使用期間中に有料にて正規サービスをお申し込みいただくことで、継続して使用することができます。

7 周辺機器／メモリについて

パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。3章および『活用編』を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
 - ・ ホットインサージョンに対応していない機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサージョンとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
 - ・ 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
 - ・ ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
 - ・ 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
 - ・ 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
 - ・ 本書で説明している場所のネジ以外は、ゆるめたり、取りはずしたりしないでください。
 - ・ 作業時に使用するドライバーは、ネジの形、大きさに合ったものを使用してください。
 - ・ 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
 - ・ パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
 - ・ パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

メモリの増設の操作にあたって

- BIOSセットアップで [Disable Built-in Battery, and Power Off] を実行してパソコン本体の電源を切り、電源コネクタからACアダプターのプラグを抜いて作業を行ってください。
- パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにゴミや油が付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。
- メモリは、コネクタに差し込む部分ではなく両端（丸く欠けている部分）を持つようにしてください。
- メモリを強く押ししたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- スリープ／休止状態中にメモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。スリープ／休止状態が無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

□ 静電気について

- メモリは、精密な電子部品のため静電気によって回復不能な損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行ってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。

8 バッテリーについて

バッテリーを使用するにあたって

- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。バッテリーを使いきってしまうと、スリープが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。このような場合は、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーを充電してください。

バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。バッテリーは5～35℃の室温で充電してください。

一般社団法人 電子情報技術産業協会の「PC用バッテリー関連Q&A」について
<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14>

9 バックアップについて

バックアップをとるにあたって

- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。

参照▶ リカバリーについて「4章 4 パソコンを初期状態に戻す」

- ハードディスクドライブや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。ハードディスクドライブや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

10 「東芝ファイルレスキュー」について

データを救助／復元するにあたって

- 本ソフトウェアは、ハードディスク上のすべてのファイルの救助、復元を保証するものではありません。
当社は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの使用によって生じたデータの損害についていっさいの責任を負わないものとします。
- ハードディスクが破損している場合、またはハードディスク上のファイルが破損している場合は、救助、復元することができません。
- 「東芝ファイルレスキュー」は、OSが起動しないときに、ハードディスク上のファイルを別の保存用記録メディアへ退避するためのものです。その他の用途では使用しないでください。
- データを救助するとき、データ保存用の記録メディアは、パソコンの電源を入れる前にセットしてください。電源を入れたあとにセットすると正しく認識されないことがあります。
- プログラムファイル、またはプログラム用のデータファイルを救助しても、復元後に正常に動作することを保証できません。
- 著作権保護、またはコピープロテクションによって保護されたファイルを救助しても、復元後に正常に動作することを保証できません。
- システム属性を持つファイル、および、暗号化されたファイルは救助できません。暗号化されたハードディスクからは、救助できません。これらの救助できないファイルは、救助対象を選択、または確認する一覧の中に表示されません。
- データを救助するときはすべてのユーザーのユーザーデータを一度に救助することができますが、データを復元するときは一回の復元実行によって一つのユーザーアカウント分のデータだけを復元します。復元したファイルは、復元処理を実行したユーザーアカウントの所有ファイルとなります。
ファイルの所有者となるユーザーアカウントでサインインし、復元処理を実行してください。
- 復元実行中にスリープ／休止状態へ移行する操作を行わないでください。
- データ保存用の記録メディアとしてCD／DVDを使用するときは、データを確実に救助するために、新しい記録メディアを使用することをおすすめします。

『活用編』にも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、『活用編』の記載もあわせてご確認ください。

■ 瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■ 高調波対策について

参照▶『活用編 付録 4 技術基準適合について』

■ 電波障害自主規制について

参照▶『活用編 付録 4 技術基準適合について』

■ 「FCC information」について

参照▶『活用編 付録 4 技術基準適合について』

■ EU Declaration of Conformityについて

参照▶『活用編 付録 4 技術基準適合について』

■ レーザー安全基準について

本製品は、レーザー製品の安全基準（EN60825-1）の"クラス1レーザー機器"である光学ドライブを搭載しています。

参照▶『活用編 付録 4 技術基準適合について』

3

無線LAN/Bluetoothについて

* 5GHzの無線LANについては、IEEE802.11a、IEEE802.11acのいずれかをサポートしているモデルのみ対象となります。

* Bluetooth機能については、Bluetooth機能搭載モデルのみ対象となります。

* Bluetoothマウスについては、Bluetoothマウス付属モデルのみ対象となります。

本製品の無線LAN/Bluetoothの仕様などについては、『基本編 付録 **2** 無線LAN/Bluetoothについて』もあわせてご覧ください。

1 使用上のご注意

日本では、本製品および付属のBluetoothマウスを第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz~2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局および移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz~2,470.75MHzと重複しています。

この周波数では電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 ▶ 東芝PCあんしんサポートについて「5章 **4** お問い合わせ先」

2 お知らせ

無線製品の相互運用性

■無線LAN

本製品に搭載されている無線LANは、Direct Sequence Spread Spectrum (DSSS) / Orthogonal Frequency Division Multiplexing (OFDM) 無線技術を使用する無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers (米国電気電子技術者協会) 策定の IEEE802.11 Standard on Wireless LANs (Revision a/b/g/n/ac) (無線LAN標準規格 (版数 a/b/g/n/ac))

■Bluetooth

本製品に搭載されているBluetoothは、Frequency Hopping Spread Spectrum (FHSS) 無線技術を使用するBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth Special Interest Group 策定の Bluetooth Specification Ver.4.0
- Bluetooth Special Interest Group の定義する Bluetooth ワイヤレステクノロジーの Logo 認証



- 本製品はすべてのBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

- (1) Bluetooth Version 1.0B 仕様のBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。
- (2) 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。
- (3) Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

健康への影響

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothは、ほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルにおさえられています。

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと考えております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。

ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が無線LANおよびBluetoothの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中で無線LANおよびBluetoothを用いた装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、無線通信機能をONにする前に、個々の組織または施設環境の管理者に対して、本製品の使用可否について確認してください。

規制に関する情報

本製品に搭載されている無線LANのインストールと使用に際しては、必ず製品付属の説明書に記載されている製造元の指示に従ってください。本製品は、無線周波基準と安全基準に準拠しています。

3 使用できる国／地域について

海外で無線通信機能を使用する場合は、使用される国／地域の無線規格を取得している必要があります。

無線規格を取得している国／地域に関する情報は、「dynabook.com」をご覧ください。

また、無線規格を取得していない国／地域では、パソコン本体の無線通信機能をOFFにしてください。

参照 無線通信機能のOFFについて「2章 **1** - **2** 無線LANで接続する」

リフレッシュ／リカバリーチェックシート

パソコンのリフレッシュ／リカバリーを行う際は、次の説明をお読みにになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。

参照▶ 各項目の詳細「4章 パソコンを再セットアップするには」

1 リフレッシュ／リカバリーする前に、次の方法を実行してみる

| リフレッシュ | リカバリー | 説明 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 周辺機器（マウス、プリンターなど）をすべて取りはずす |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 「5章 困ったときは」『困ったときは』をご覧ください、ほかのトラブル解消方法を探す |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 「システムの復元」を実行して、パソコンを以前の状態に復元する |

2 リフレッシュ／リカバリーする前にすること

| リフレッシュ | リカバリー | 説明 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ① 準備するもの 『dynabookガイド（取扱説明書）』 リフレッシュ／リカバリーチェックシート（本シート） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | リカバリーメディア（メディアからリカバリーする場合のみ） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ② 必要なデータのバックアップをとる ● [ドキュメント]、[ピクチャー]、デスクトップ上などのデータ ● 「Internet Explorer」の「お気に入り」のデータ ● メール送受信データ、メールアドレス ● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ③ アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する ● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア ● Officeのパッケージ（プロダクトキーの情報） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ④ 各種設定を確認する ウイルスチェックソフトの設定など |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | インターネット、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ⑤ 無線通信機能がONであるかを確認する |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ⑥ 周辺機器（マウス、プリンターなど）をすべて取りはずす |

3 リフレッシュ／リカバリーの実行と、その後にする事

| リフレッシュ | リカバリー | 説明 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ① リフレッシュ／リカバリーを行う（*リカバリー後は初期セットアップが必要） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ② 周辺機器（マウス、プリンターなど）を取り付けて、設定する |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ③ ウイルスチェックソフトの利用を開始する |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ④ インターネットを設定する |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ⑤ ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する、Windows Updateを行う、東芝サービスステーションでソフトウェアのアップデートを行う |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ⑥ メールを設定する |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ⑦ アプリケーションのインストールや設定を行う |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ⑧ バックアップをとったデータを復元する |